

商店街振興のための買い物環境・意識に関する

市民アンケート調査 報告書

令和7年10月

角田市

目 次

1	調査目的	1
2	調査概要	1
3	調査結果	2－3
4	アンケート調査結果	
4－1	集計結果1（単純集計）	4－2 1
4－2	集計結果2（クロス集計）	2 2－3 2
5	アンケート調査票	3 3－4 0

1 調査目的

商店街は、雇用創出や歴史・文化の継承など、コミュニティにおいて人の繋がりをつくる場として重要な役割を果たしています。しかし、近年の角田市内の商店街では、店主の高齢化や後継者不足、大型店との競争激化による来街者の減少等を理由に、空き店舗及び空き地が増加し、商店街の賑わいが減少している状況にあります。

このような状況において、商店街の継続性・持続可能性を確保するためには、地域の特性を踏まえたうえで、10年、20年後の商店街の将来像を考えることが必要不可欠となります。本調査は、消費者ニーズや購買行動、商店街に対する消費者の意識などを調査することによって、社会経済や地域環境の変化に適応し、地域住民に愛される商店街づくりに役立てるために実施いたしました。

2 調査概要

調査対象者：住民基本台帳（令和7年6月1日現在）から下記の条件で無作為抽出された15歳から79歳までの市民1,000人を対象といたしました。

抽出条件：角田市全域から地区別人口構成と年代別人口構成に応じて抽出いたしました。

単位：人

	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	合計
角田地区	23	78	82	74	64	36	43	400
横倉地区	6	21	22	16	17	9	11	102
小田地区	1	4	5	4	4	2	2	22
枝野地区	3	11	12	9	9	5	6	55
藤尾地区	5	16	17	13	13	7	9	80
東根地区	2	8	9	6	7	3	4	39
桜地区	8	25	27	20	21	12	14	127
北郷地区	7	20	22	19	19	11	8	106
西根地区	4	14	15	11	11	6	8	69
全体	59	197	211	172	165	91	105	1,000

調査対象エリア：天神町共栄会、角田銀座振興会、中央通り商店会、本町繁栄会とその隣接地域

設問構成：アンケートの設問は、大きく次の3つに分けて構成しております。

- (1) 回答者に関する設問
- (2) 買い物動向に関する設問
- (3) 商店街への意識に関する設問

3 調査結果

調査票発送日：令和7年6月20日

回収期間：調査票発送日から令和7年7月25日まで

発送数：1,000通

回収数：326通〔回収率32.6%〕

<集計方法>

(1) 単純集計（設問に対する単純集計）

(2) 設問条件付集計

①年代別集計

年代ごとの傾向を分析しました。

②地区別集計

地区ごとの傾向を分析しました。

③商店街の利用頻度、商店街に良さを感じているかどうかによる傾向の違い

商店街を活性化するためには、利用頻度の高い層へのサービスの充実と、利用していない層への利用促進を図る必要があります。

商店街の利用頻度、商店街に良さを感じているかどうかで傾向を分析しました。

<調査結果>

今回の調査から次のことが分かりました。

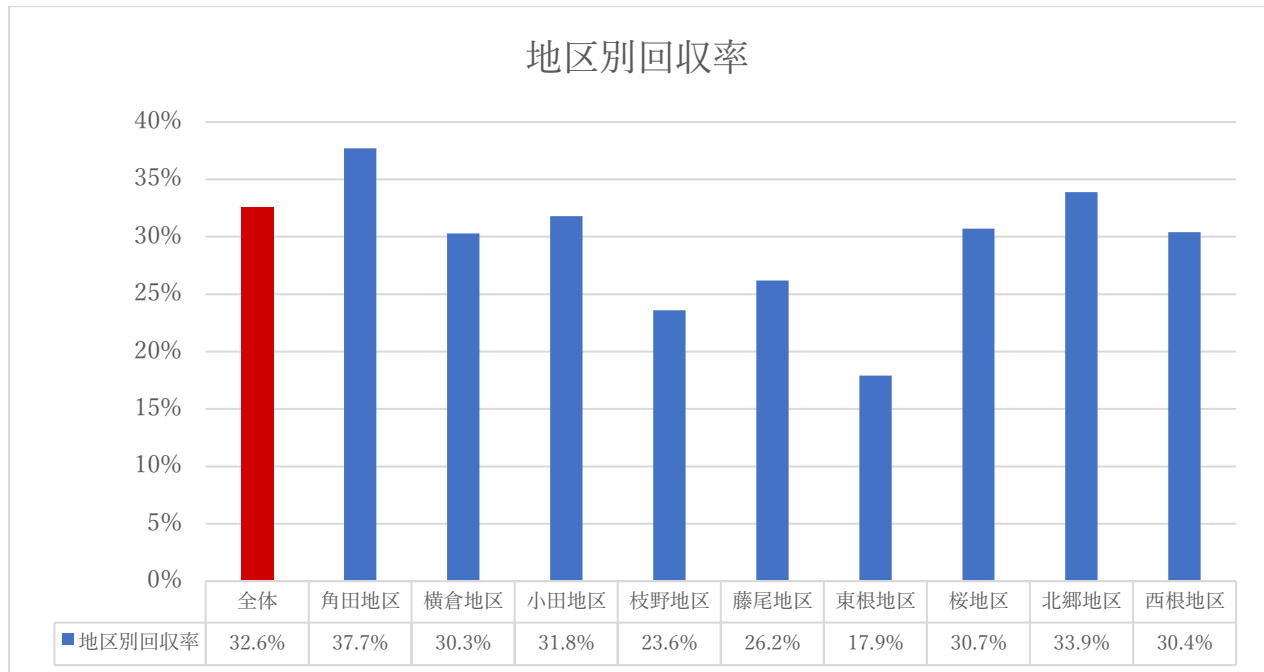
- ・最寄り品は市内購入率が高いが、書籍・文具を除く買回品は市外購入率が高かった。(P 8)
- ・市外の購入先市町村として、名取市、大河原町、柴田町が多かった。(P 8)
- ・最寄り品はスーパーやドラッグストア、買回品は大型商業施設での購入が多かった。(P 9)
- ・商店街で購入されている品目は、書籍・文具が多かった。(P 9)
- ・買い物の場所やお店を決める際に重要視していることは、「品揃えが豊富」「値段が安い」「車で行きやすい」といった商品やお店の立地に関する回答が多かった。(P 10)
- ・外食先を決める際に重要視していることは、「美味しい」「車で行きやすい」「メニューが豊富」「値段が安い」が多かった。(P 12)
- ・イベントやお店の情報取得は、「家族・友人・知人」「SNS」が多かった。(P 13)
- ・キャッシュレス決済は、7割以上が利用している。(P 13)
- ・地域通貨を導入した際の利用意向は、利用する21.8%、利用しない26.1%、どちらともいえない49.1%であった。(P 15)
- ・商店街を訪れる頻度は、月1回～数ヶ月に1回の人約半数で、利用しない人は約2割いた。(P 16)
- ・商店街を訪れる目的は、「銀行・郵便局」「買い物」の順が多かった。(P 16)
- ・商店街に良さを感じている人13.2%、感じていない人28.8%、どちらともいえない53.7%であった。(P 17)

- ・商店街の良い点として「名物店や老舗の存在」の回答が多かった。(P 17)
- ・商店街の不足している点として「店の数や業種の多さ」の回答が多かった。(P 18)
- ・商店街が地域と関わりを深めるための取り組みとして、「定期的なイベント」の回答が多かった。(P 20)
- ・これからの商店街に望むものとして、「子供からお年寄りまで買い物が楽しめる」といった買い物する人に優しい環境づくりや年代を問わない業種・商品が多く求められた。続いて、「無料駐車場・駐輪場がある」といった駐車料金を気にせず商店街を訪問できる環境が望まれていることが分かった。(P 20)
- ・年代によって、商品やサービスを選ぶ際の価値観が変化している。(P 22)
- ・10代～30代の約4割がSNSから情報を取得している。(P 22)
- ・若い年代はQRコード決済、高齢年代は電子マネーの利用が多い。(P 23)
- ・10代、20代の半数以上が商店街を利用しない。商店街の利用者は年代が上がるにつれ多くなっている。(P 24)
- ・「小田地区」「枝野地区」「藤尾地区」での商店街利用者の割合が高かった。(P 28)
- ・商店街をあまり利用しない人、商店街に良さを感じていない人は「色々なお店が多い」を重要視し、一方で、商店街をよく利用する人、商店街に良さを感じている人は「品質が良い」を重要視している。(P 30)
- ・商店街の感じ方によって、これからの商店街に望むものが異なっていた。(P 32)

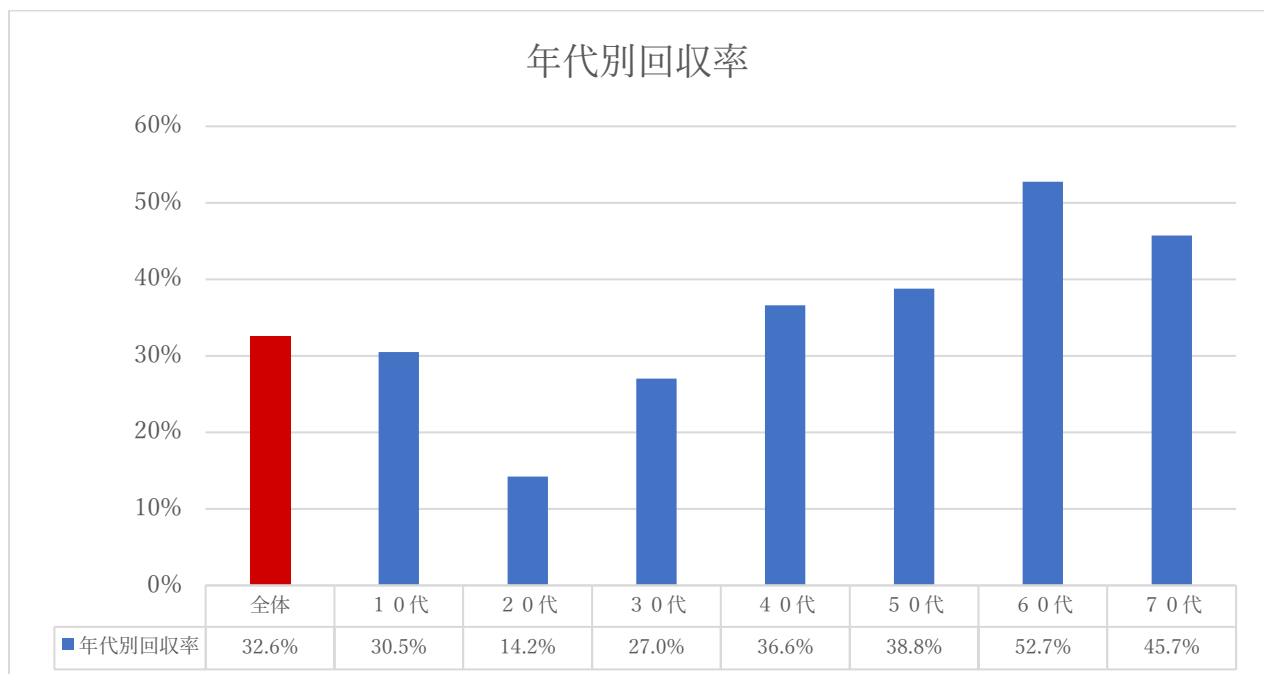
4 アンケート調査結果

4-1 集計結果1（単純集計）

地区別回収率



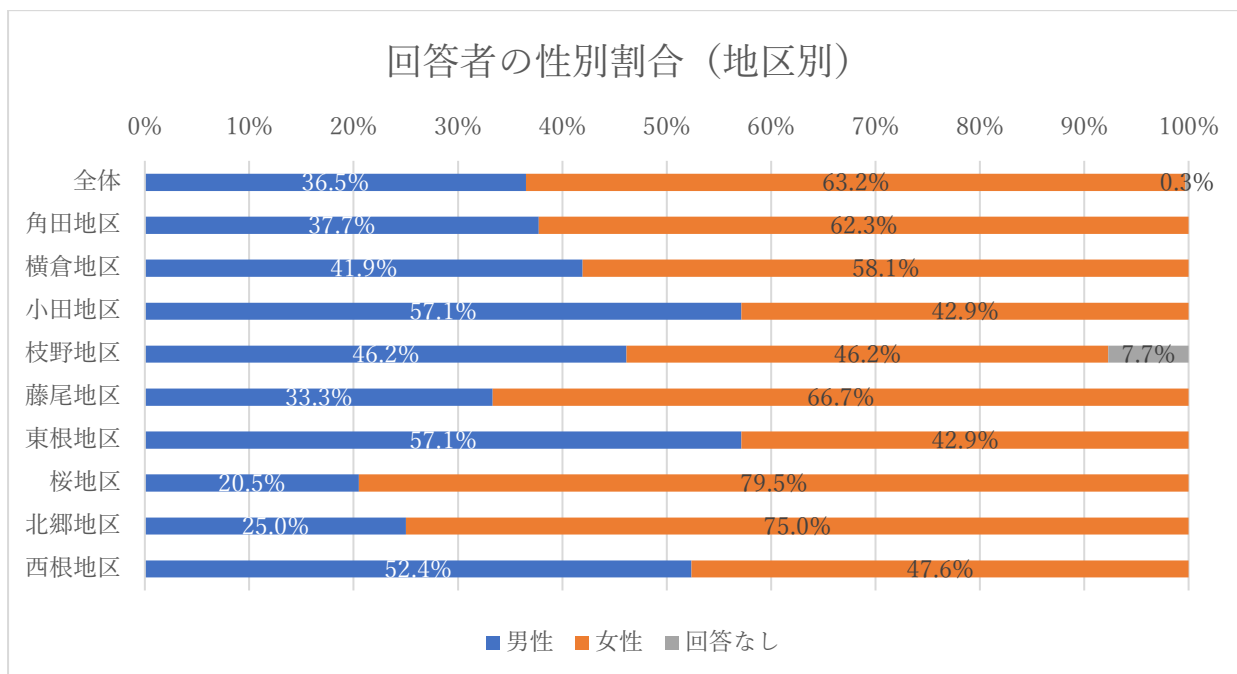
年代別回収率



(1) あなた自身について

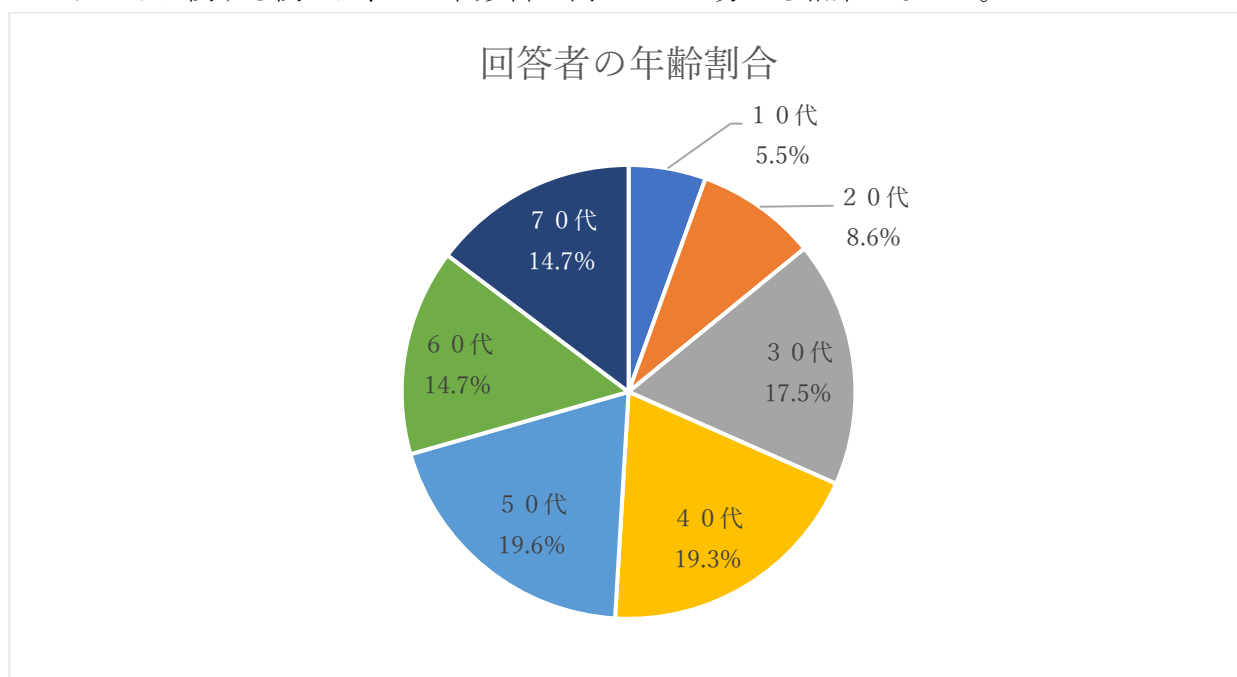
問１－１ 性別をお答えください。

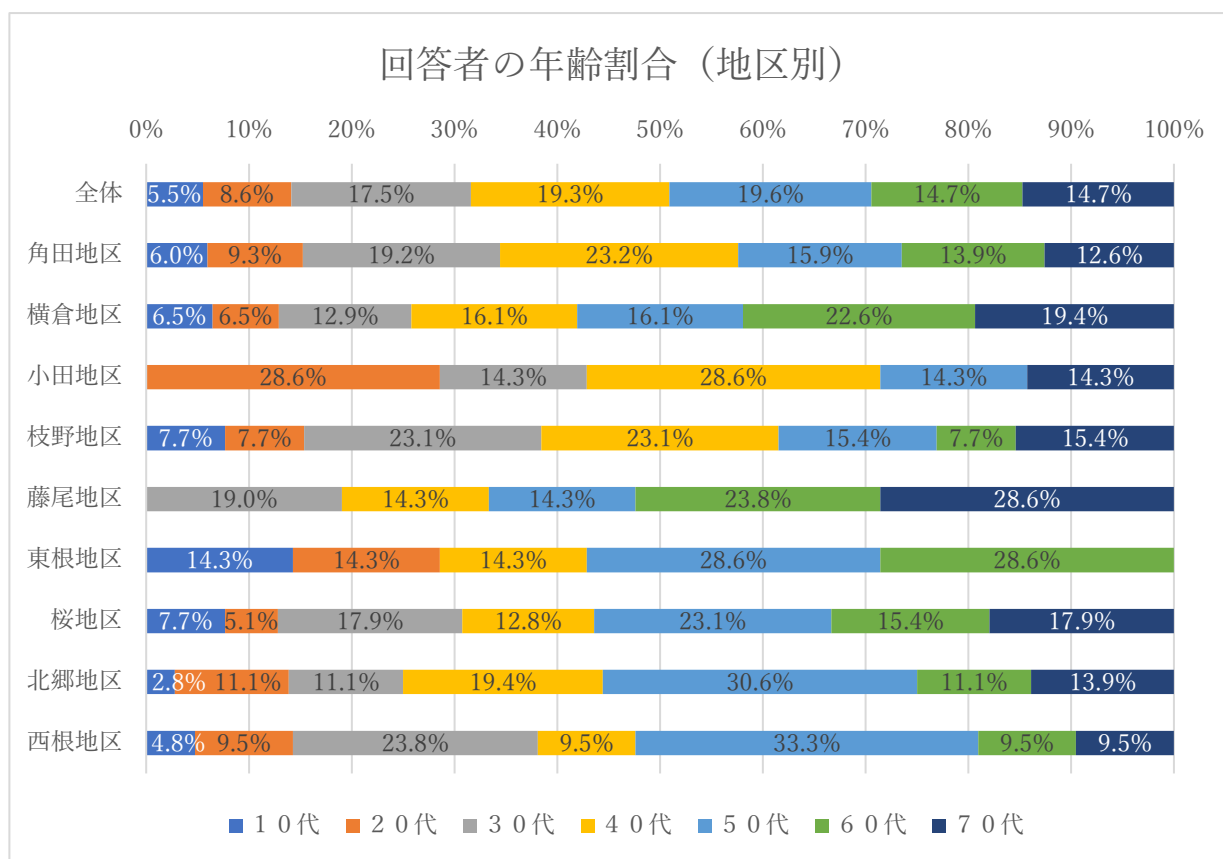
全回答者の性別の割合は、男性 36.5%、女性 63.2%、回答なし 0.3%となった。
アンケートに関する関心は、男性よりも女性の方が高いことが分かる結果となった。



問１－２ 令和7年6月1日現在の年齢をお答えください。

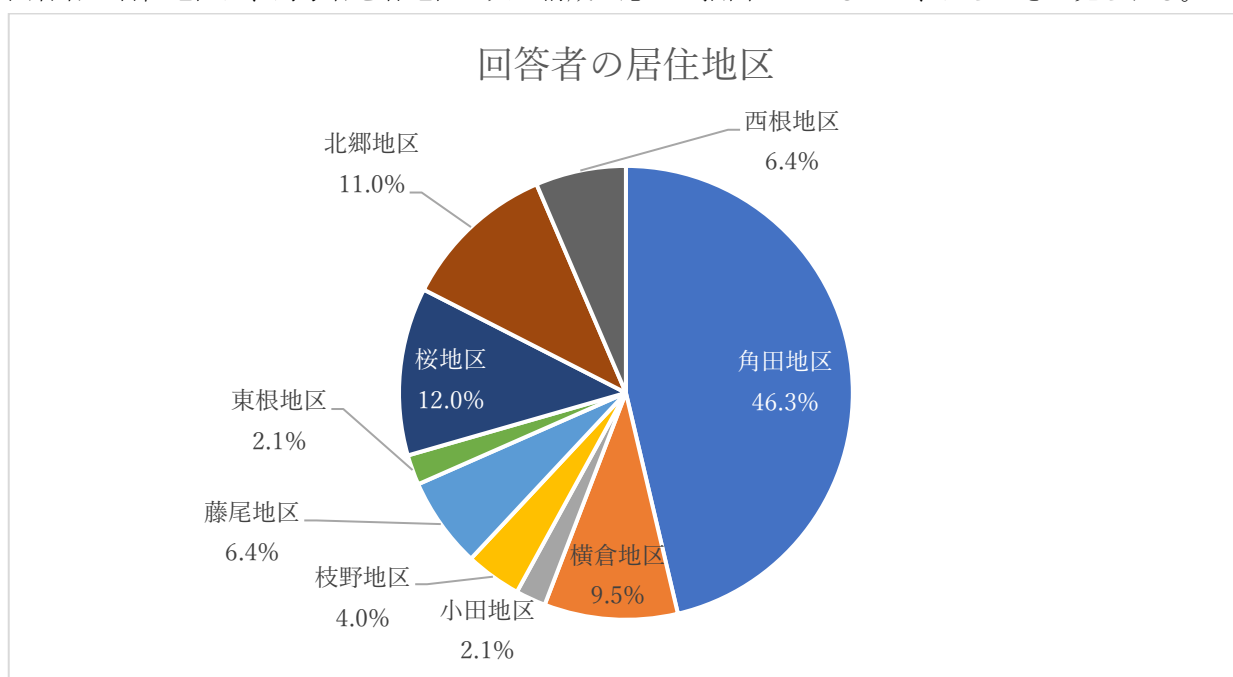
回答者の年代は、若い年代が少なく30代以降の年代から多くの回答を得ている。
アンケートに関する関心は、30代以降が高いことが分かる結果となった。





問 1－3 お住まいの地区をお答えください。

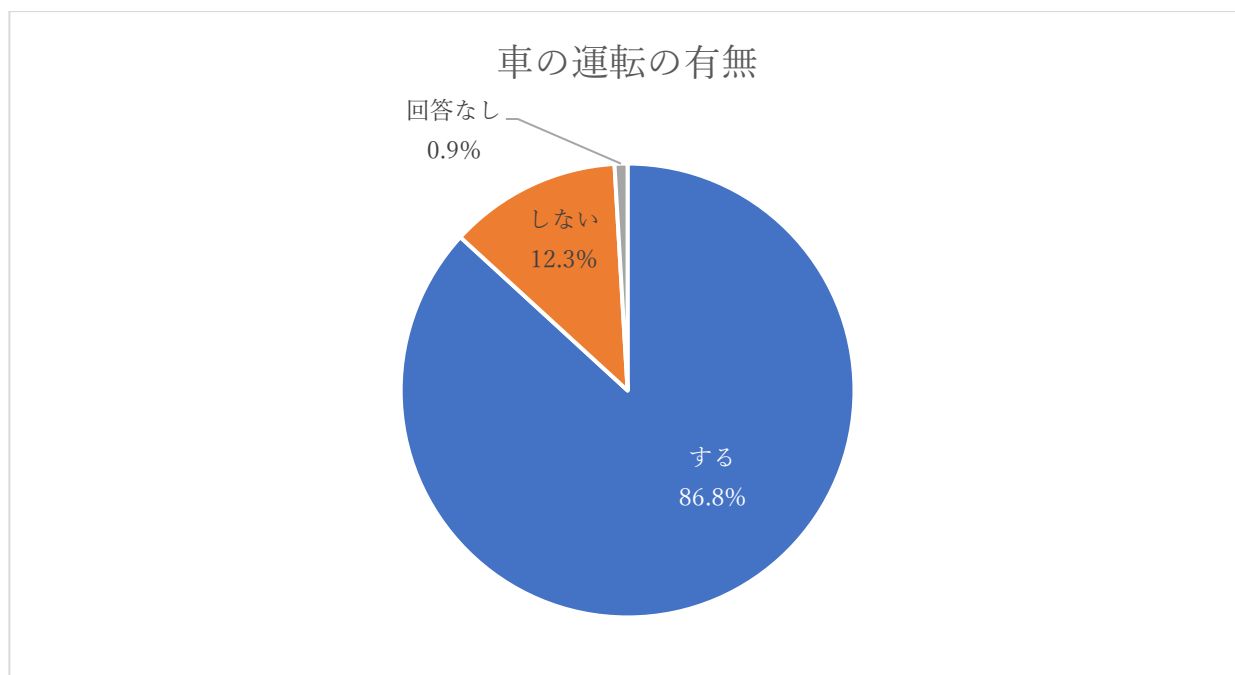
回答者の居住地区は、対象者を各地区の人口構成に応じて抽出しているため、ばらつきが見られる。



※全体集計数 3 2 6 件の居住地区の内訳を示す。

問 1－4 普段の生活で車を運転しますか。

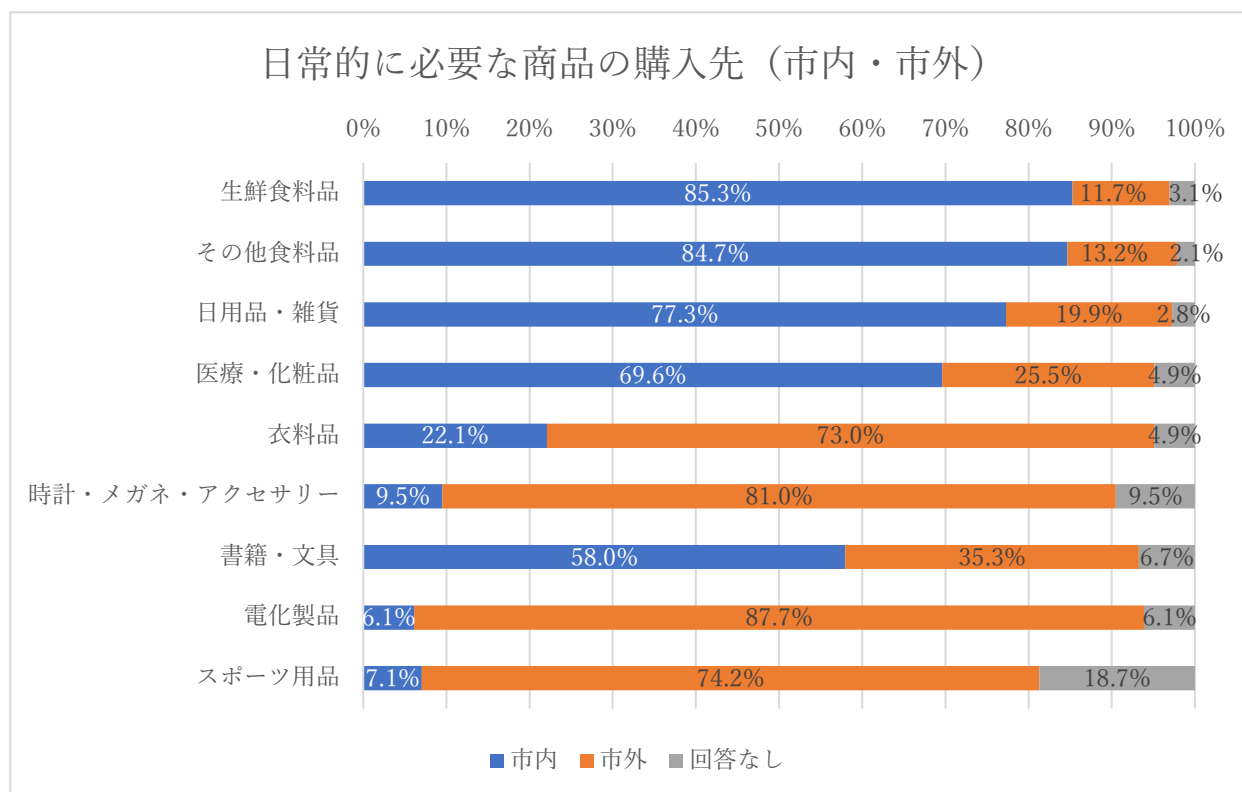
回答者の 8 割以上が車を運転する。角田市が車社会であることが窺える。



(2) あなたの買い物状況について

問2-1 日常的に必要な商品は、市内と市外どちらで購入することが多いですか。

最寄り品（食料品、日用品・雑貨、医療・化粧品）については、市内購入率が高いが、買回品（衣料品、時計・メガネ・アクセサリ、電化製品、スポーツ用品）については、市外（特に名取市、大河原町）での購入率が高い。一部、書籍・文具のみ市内での購入率が高いという特徴的な結果となった。



市外購入先の内訳（品目別）

	仙台市	富谷市	多賀城市	名取市	岩沼市	大河原町	柴田町	山元町	亘理町
生鮮食料品	3.7%	0.0%	0.0%	5.6%	3.7%	25.9%	46.3%	3.7%	11.1%
その他食料品	6.9%	0.0%	1.7%	5.2%	3.4%	34.5%	36.2%	0.0%	10.3%
日用品・雑貨	9.9%	0.0%	1.2%	23.5%	3.7%	37.0%	16.0%	0.0%	4.9%
医療・化粧品	27.8%	0.0%	1.0%	9.3%	4.1%	30.9%	13.4%	1.0%	4.1%
衣料品	22.1%	0.0%	0.0%	38.7%	0.4%	25.1%	5.5%	0.0%	1.5%
時計・メガネ等	27.9%	0.4%	0.0%	34.6%	1.1%	25.4%	5.7%	0.0%	1.1%
書籍・文具	30.2%	0.0%	0.0%	39.5%	0.8%	11.6%	7.8%	0.0%	2.3%
電化製品	11.9%	0.3%	0.0%	11.6%	0.3%	68.7%	3.4%	0.0%	0.0%
スポーツ用品	21.4%	0.0%	0.4%	54.4%	0.0%	16.5%	2.0%	0.0%	0.0%

※内訳は、市外購入回答者に対する割合

部分は、各品目で一番購入されている市町村を示す（横軸での比較）

部分は、各市町村で一番購入されている品目を示す（縦軸での比較）

問 2-2 日常的に必要な商品は、どこで購入していますか。3つまで選択可。

食料品の購入先はスーパーが最も多く、特に生鮮食料品においては、全体の9割以上の人が入先としている。

日用品・雑貨や医療・化粧品の入先はドラッグストアが多く、衣料品、時計・メガネ・アクセサリ、書籍・文具、電化製品、スポーツ用品の入先は、大型商業施設が多いという結果になった。

商店街での購入割合を見ると、ほとんどの品目で苦戦している状況が窺えるものの、「書籍・文具」が3割以上と最も高く、先の設問2-1の結果と合わせると、商店街で買い物をする人は書籍・文具を購入するための利用が多いようである。

	商店街	スーパー	ドラッグストア	コンビニ	大型商業施設	ネット通販	その他
生鮮食料品	8.0%	92.9%	34.7%	13.2%	22.7%	2.8%	2.1%
その他食料品	12.3%	83.1%	55.8%	35.3%	18.7%	5.8%	2.5%
日用品・雑貨	5.5%	42.3%	71.2%	4.6%	30.1%	25.2%	6.1%
医療・化粧品	4.3%	6.7%	85.9%	1.2%	17.8%	32.5%	4.9%
衣料品	5.2%	10.7%	1.8%	0.0%	73.0%	52.8%	16.0%
時計・メガネ等	7.7%	0.9%	0.6%	0.3%	62.0%	27.9%	19.3%
書籍・文具	31.6%	6.4%	6.4%	6.1%	42.6%	27.9%	17.5%
電化製品	4.0%	1.5%	0.3%	0.3%	67.8%	34.4%	24.2%
スポーツ用品	1.8%	0.6%	0.0%	0.0%	51.2%	32.2%	16.3%

※複数回答有、全体の回答者数（326件）に対する割合

部分は、各品目で最も購入されている入先を示す（横軸での比較）

部分は、各入先で最も購入されている品目を示す（縦軸での比較）

問 2-3 次のお店は、どのくらいの頻度で利用していますか。

商店街の利用頻度は、各入先の中で最も少ない割合となっており、厳しい状況が窺える。

先の設問2-2の結果と合わせると、最寄り品の購入が多いスーパー、ドラッグストア、コンビニについては、週1回以上の利用が多く、買回品の購入が多い大型商業施設やネット通販については、月1回程度の利用が多く見られる。

	ほぼ毎日	週に2、3回	週1回程度	月1回程度	数ヶ月に1回	利用しない	回答なし
商店街	1.8%	4.3%	13.5%	22.7%	25.5%	24.8%	7.4%
スーパー	16.9%	45.4%	27.0%	3.7%	0.6%	2.8%	3.7%
ドラッグストア	2.1%	32.5%	38.3%	19.9%	2.1%	1.2%	3.7%
コンビニ	9.5%	27.3%	27.3%	14.4%	8.3%	5.8%	7.4%
大型商業施設	0.6%	1.5%	17.2%	46.9%	23.0%	3.7%	7.1%
ネット通販	0.3%	3.7%	14.4%	30.1%	25.8%	16.9%	8.9%

部分は、各入先で最も多い利用頻度を示す（横軸での比較）

部分は、各利用頻度で最も多い入先を示す（縦軸での比較）

問 2-4 次のお店に行くために、最も利用する交通手段は何ですか。

いずれの購入先においても、自家用車の利用が群を抜いて高く、角田市が車社会であることが窺える。

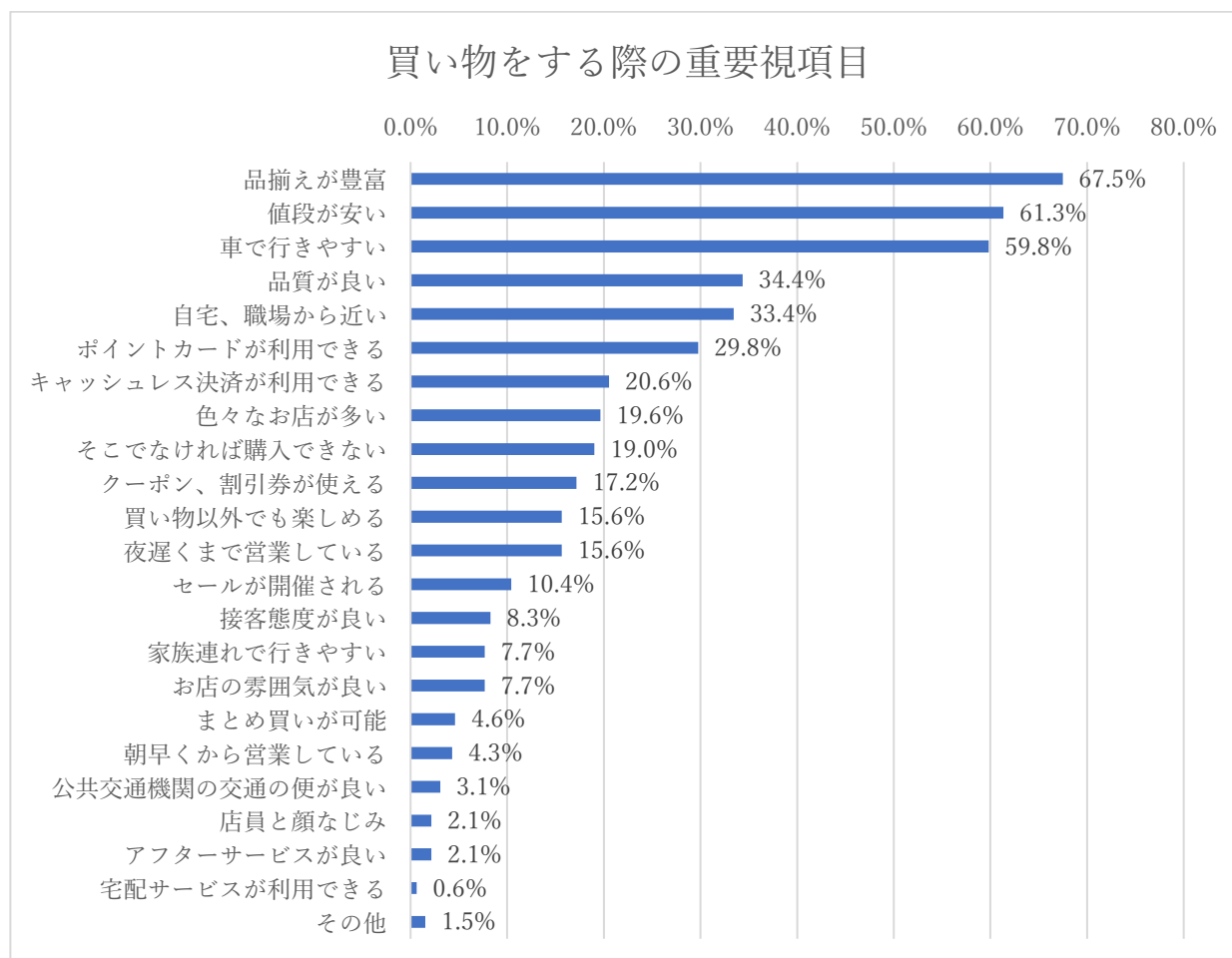
	徒歩	自転車	バイク	自家用車	タクシー	バス	鉄道	利用しない	回答なし
商店街	3.4%	4.0%	0.3%	73.3%	0.0%	0.0%	0.3%	13.5%	5.2%
スーパー	1.8%	3.4%	0.3%	89.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	3.4%
ドラッグストア	4.3%	4.6%	0.3%	86.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	3.1%
コンビニ	10.4%	3.4%	0.3%	76.1%	0.0%	0.0%	0.6%	4.0%	5.2%
大型商業施設	0.6%	1.2%	0.3%	87.1%	0.0%	0.0%	3.1%	2.5%	5.2%

問 2-5 よく買い物する時間帯と曜日についてお答えください。複数選択可。

時間帯に関しては、スーパーは午後、大型商業施設は午前が多く、その他は不特定が最も多い結果となった。曜日に関しては、すべて不特定が最も多く、この設問結果からは、特徴的な点は浮かび上がらなかった。

問 2-6 買い物の場所やお店を決める際に、重要視していることは何ですか。5つまで選択可。

「品揃え」「値段」「車で行きやすい」が上位を占め、続いて「品質」「自宅、職場から近い」「ポイントカードが利用できる」といった商品・サービスに関することや買い物場所の立地に関する項目が挙げられた。



※複数回答有、全体の回答者数（326件）に対する割合

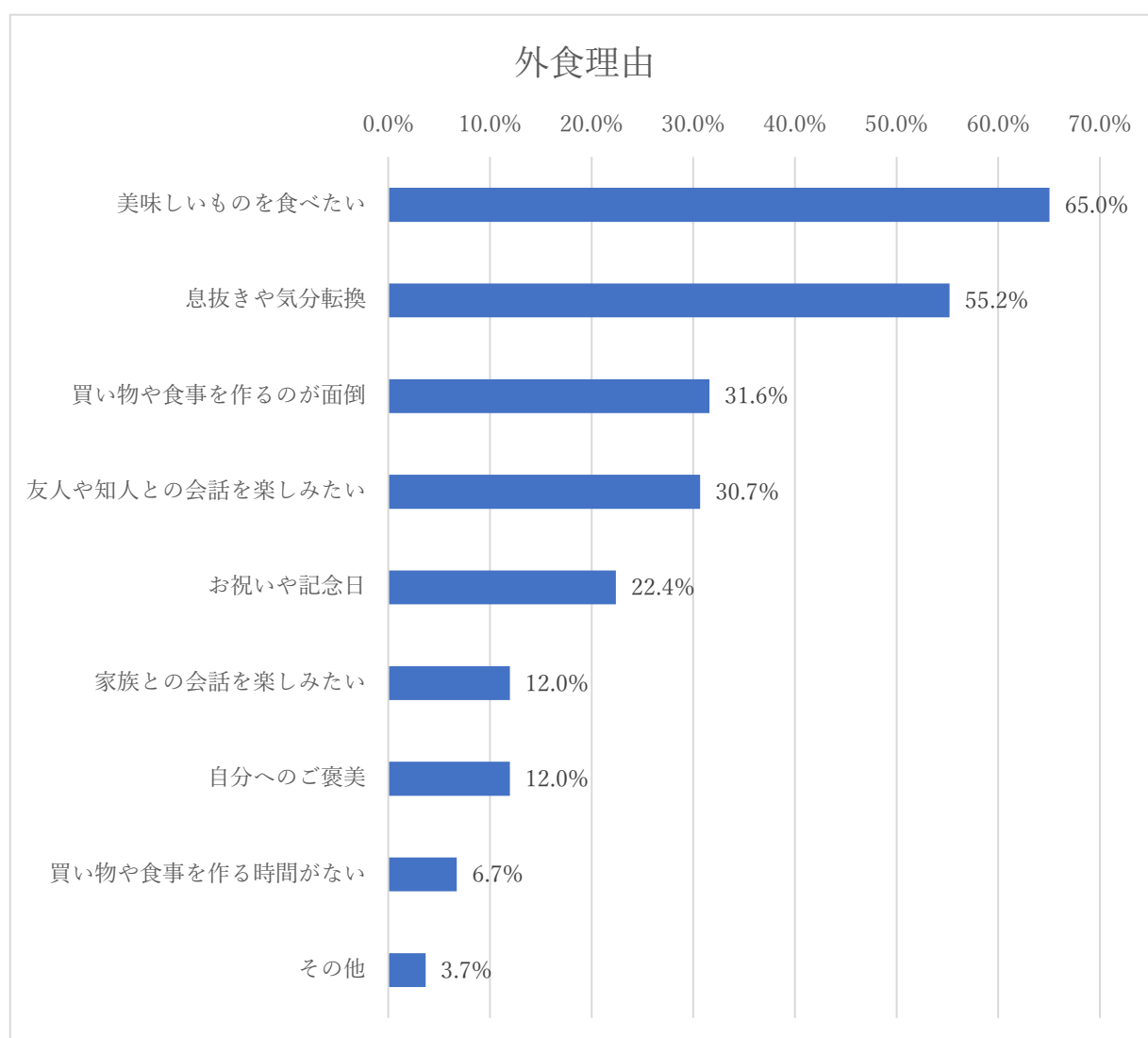
問 2－7 どのくらいの頻度で外食していますか。

商店街の飲食店では、「数ヶ月に1回」の外食が多く、その他の飲食店は「月1回程度」の外食が多い結果となった。商店街の飲食店での外食に関しては、「数ヶ月に1回」と「外食しない」の回答の合計が6割以上となっており、外食頻度は少ないように見受けられる。

	ほぼ毎日	週に2、3回	週1回程度	月1回程度	数ヶ月に1回	外食しない	回答なし
商店街の飲食店	0.0%	1.8%	7.4%	17.5%	35.0%	31.6%	6.7%
その他の飲食店	0.6%	4.3%	26.4%	38.3%	19.3%	8.6%	2.5%

問 2－8 外食する理由について、お答えください。3つまで選択可。

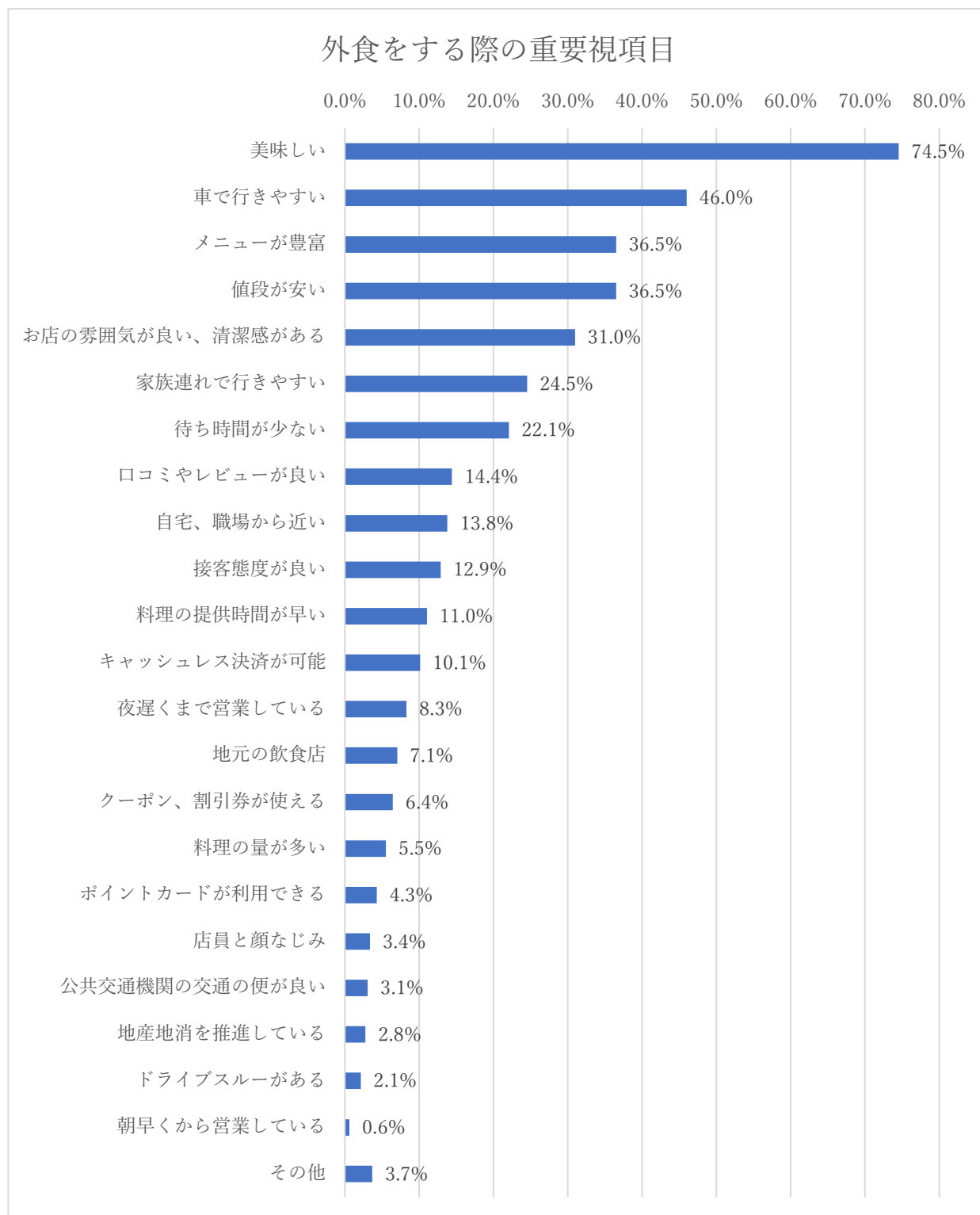
「美味しいものを食べたい」「息抜きや気分転換」の回答が5割以上あり、続いて「買い物や食事を作るのが面倒」「友人や知人との会話を楽しみたい」という回答が多かった。



※複数回答有、全体の回答者数（326件）に対する割合

問２－９ 外食先を決める際に、重要視していることは何ですか。５つまで選択可。

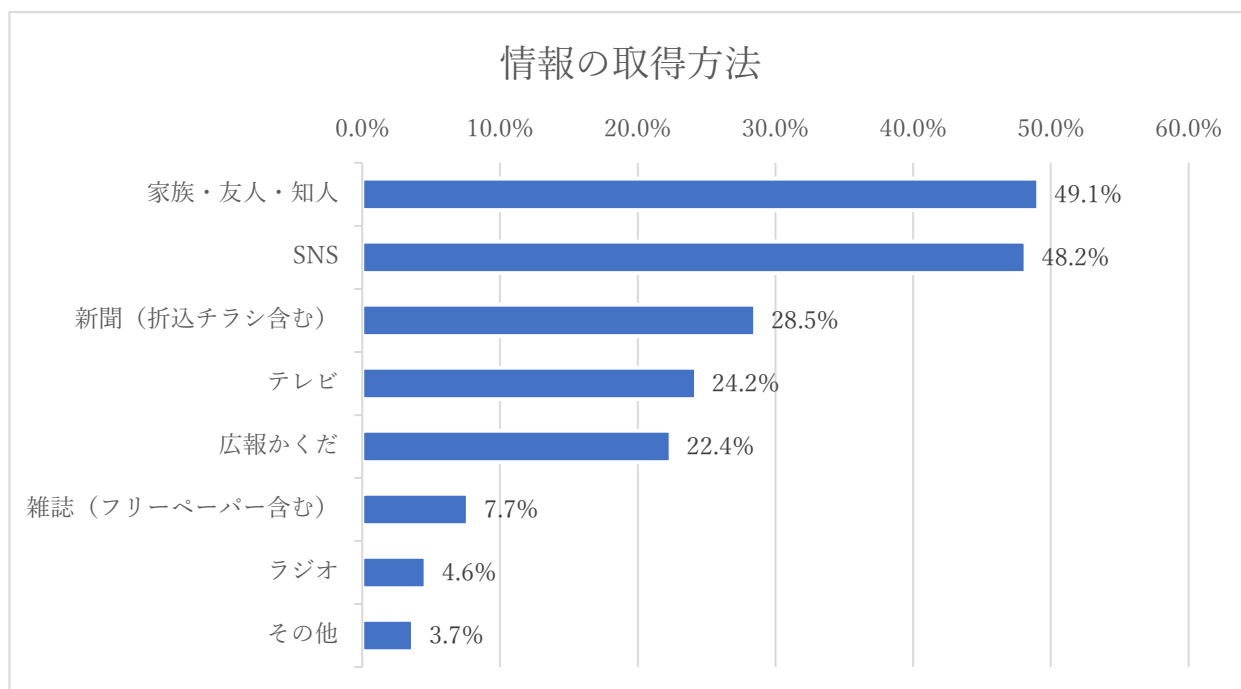
「美味しい」が最も多く挙げられた。先の設問２－８の結果と合わせても、美味しさを求めて外食をする人が多いことが分かる。続いて「車で行きやすい」の回答が多く、車社会の角田市においては、車で行きやすい立地が重要視されることが分かった。



※複数回答有、全体の回答者数（３２６件）に対する割合

問 2－1 0 イベントやお店の情報は何かから取得していますか。複数選択可。

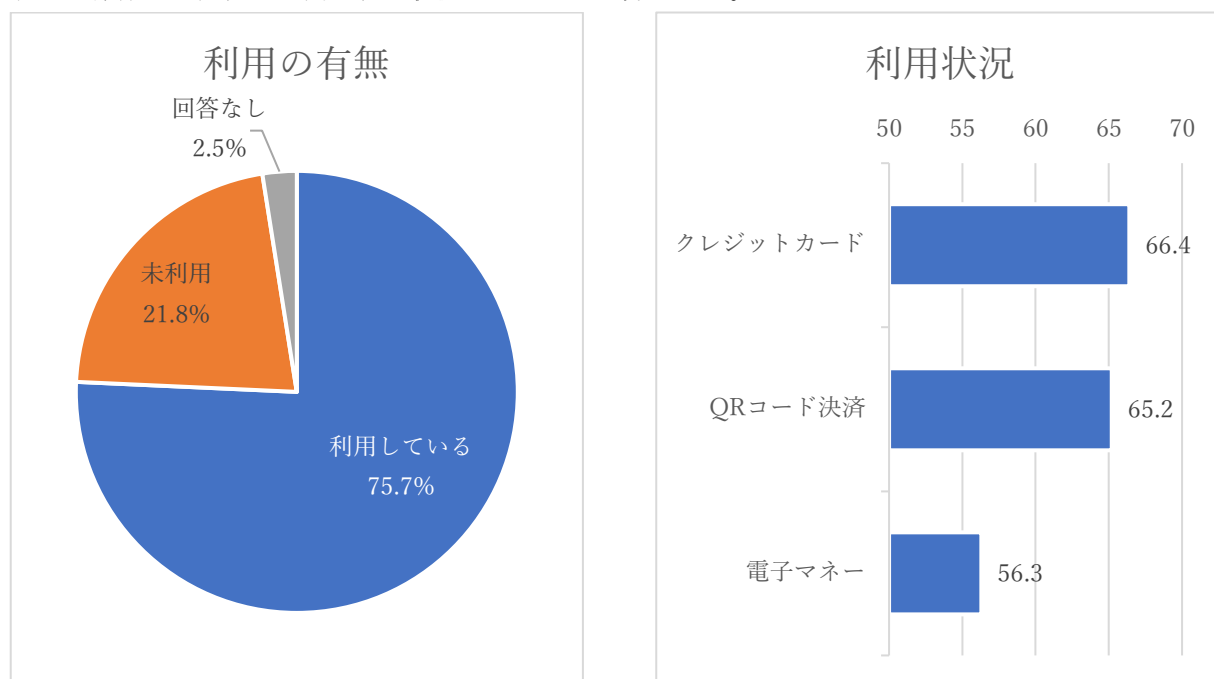
「家族・友人・知人」「SNS」の回答が多く、続いて「新聞（折込チラシ含む）」「テレビ」「広報かくだ」が多く挙げられた。



※複数回答有、全体の回答者数（326件）に対する割合

問 2－1 1 キャッシュレス決済利用状況について、お答えください。複数選択可。

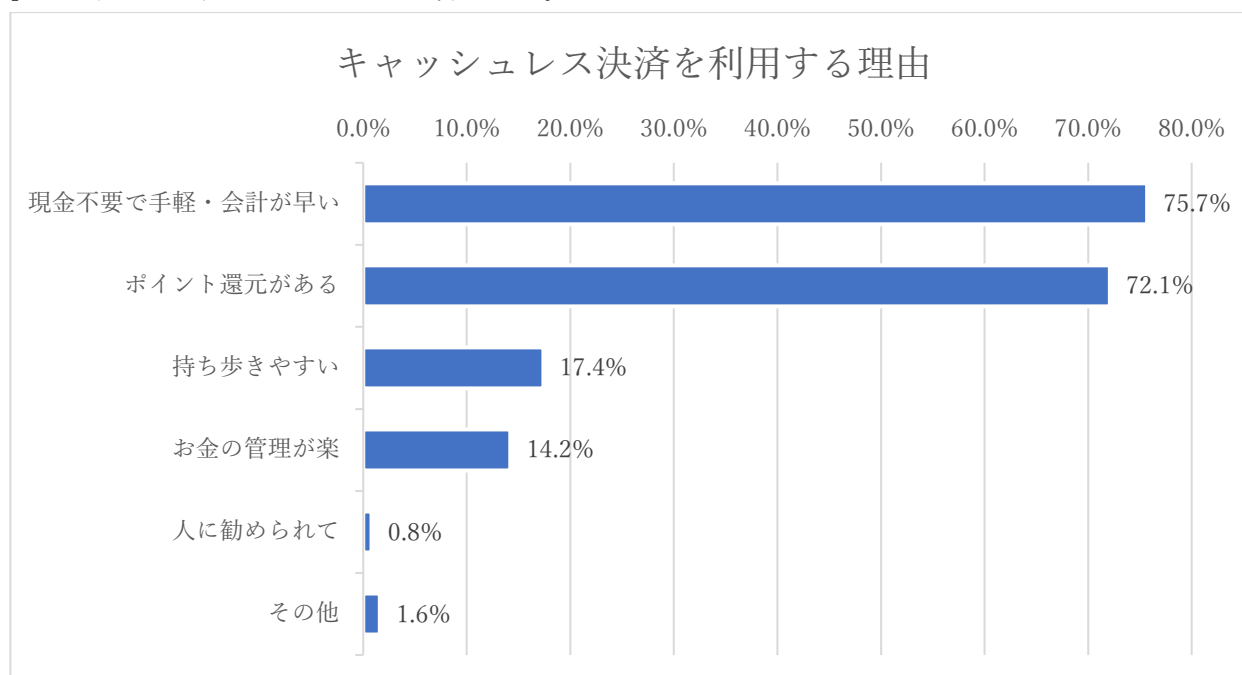
「利用している」と回答した人が7割以上と多く、クレジットカード、QRコード決済、電子マネーのいずれの媒体も5割以上の高い利用状況であることが分かった。



※利用状況の内訳は、キャッシュレス決済利用者数（247人）に対する割合

問２－１２ キャッシュレス決済を利用する理由について、お答えください。複数選択可。

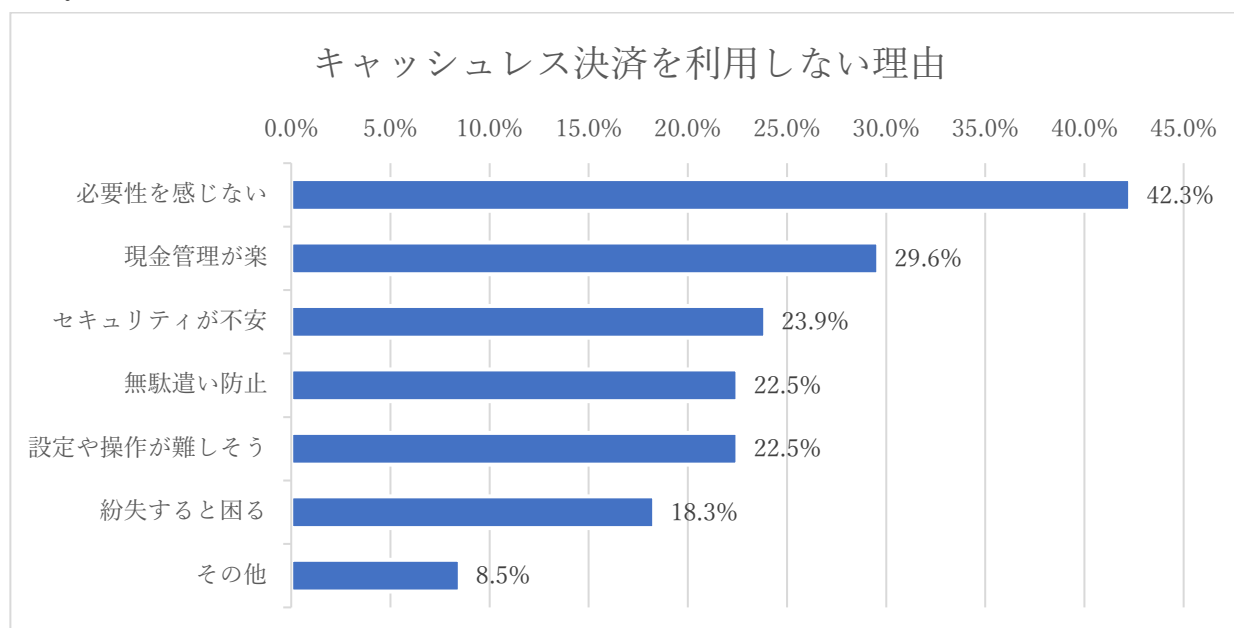
キャッシュレス決済利用者のうち、７割以上の人が「現金不要で手軽・会計が早い」「ポイント還元がある」という理由で利用していることが分かった。



※内訳は、キャッシュレス決済利用者数（２４７人）に対する割合

問２－１３ キャッシュレス決済を利用しない理由について、お答えください。複数選択可。

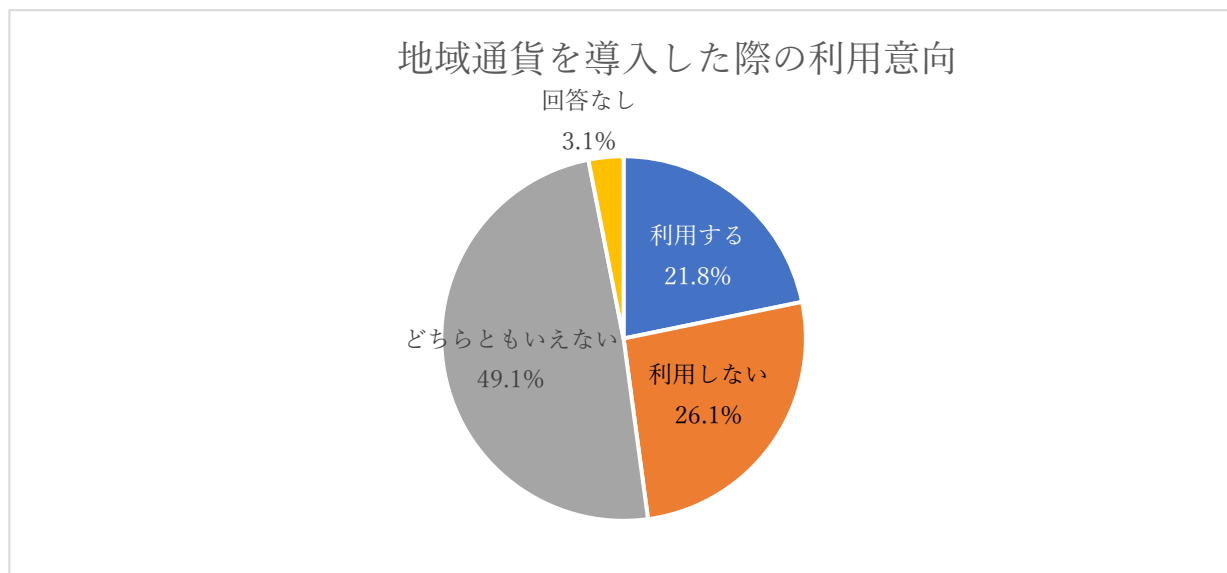
キャッシュレス決済を利用していない人からは、「必要性を感じない」との回答が最も多く挙げられた。続いて、「現金管理が楽」「セキュリティが不安」「無駄遣い防止」「設定や操作が難しそう」などの回答が多かった。



※内訳は、キャッシュレス決済未利用者（７１人）に対する割合

問２－１４ 市内商店街で地域通貨（商店街独自のキャッシュレス決済）を導入した場合、利用しますか。

約半数の人が「どちらともいえない」との回答であった。「利用しない」と回答した人は２６．１％で、利用すると回答した人を上回る結果となった。先の設問２－１１では、キャッシュレス決済を利用していると回答した人が７割以上いたにも関わらず、地域通貨を導入した際に「利用する」と回答した人は約２割と利用意向が低い結果となった。



問２－１５ 地域通貨（商店街独自のキャッシュレス決済）を利用しない理由をお答えください。

本設問への回答は、９７件であった。本回答は自由記載であり、その内容を加味し分類した表を次に示す。

「商店街の利用頻度が少ない」「商店街独自で実施するメリットが分からない」「欲しい商品がない」との理由が多く挙げられ、地域通貨の導入が直接的に商店街の来訪者増加に繋がるわけではないことが窺える。

商店街	1 商店街に魅力がない	2. 1%
	2 欲しい商品がない	10. 3%
	3 商店街の利用頻度が少ない	38. 1%
	4 商店街独自で実施するメリットが分からない	13. 4%
システム	1 使いこなせない	3. 1%
	2 動作の安定性に疑問	1. 0%
	3 紛失とセキュリティが心配	2. 1%
	4 他のキャッシュレス決済を利用している	6. 2%
	5 他のキャッシュレス決済との使い分けが面倒	6. 2%
その他	1 現金で満足	8. 2%
	2 必要性を感じない	2. 1%
	3 面倒	4. 1%
	4 無駄遣い防止	1. 0%
	5 その他	2. 1%

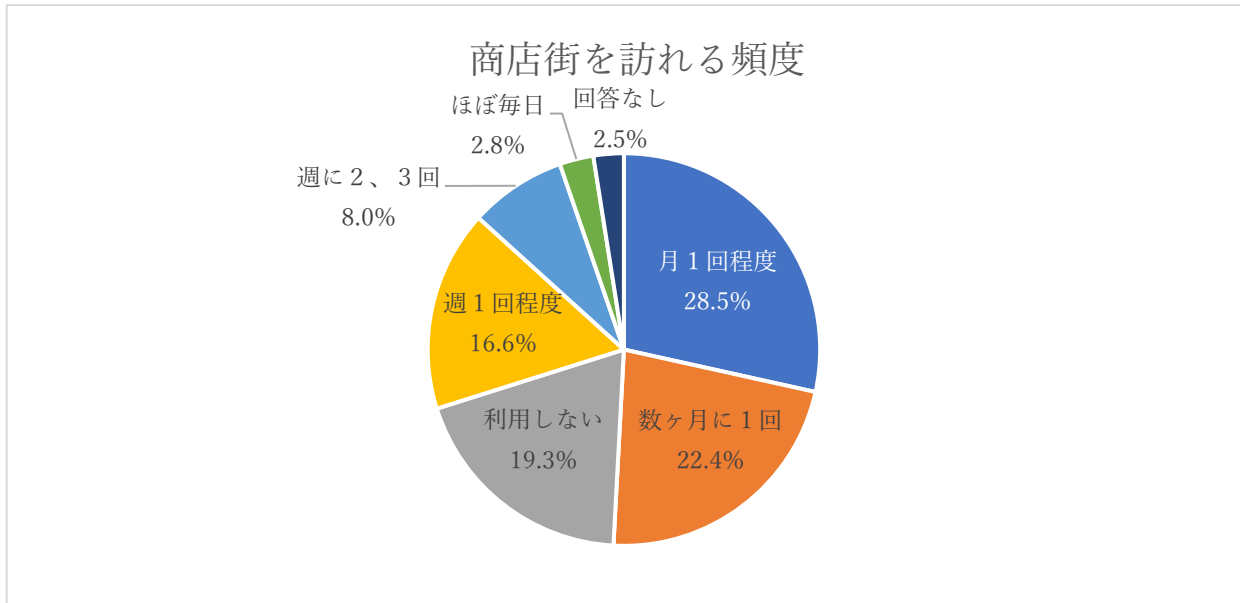
※本設問の回答者数（９７件）に対する割合

部分は、自由回答で多く記載されていた内容上位３項目を示す

(3) 角田市内の商店街について

問 3－1 商店街を訪れる頻度について、お答えください。

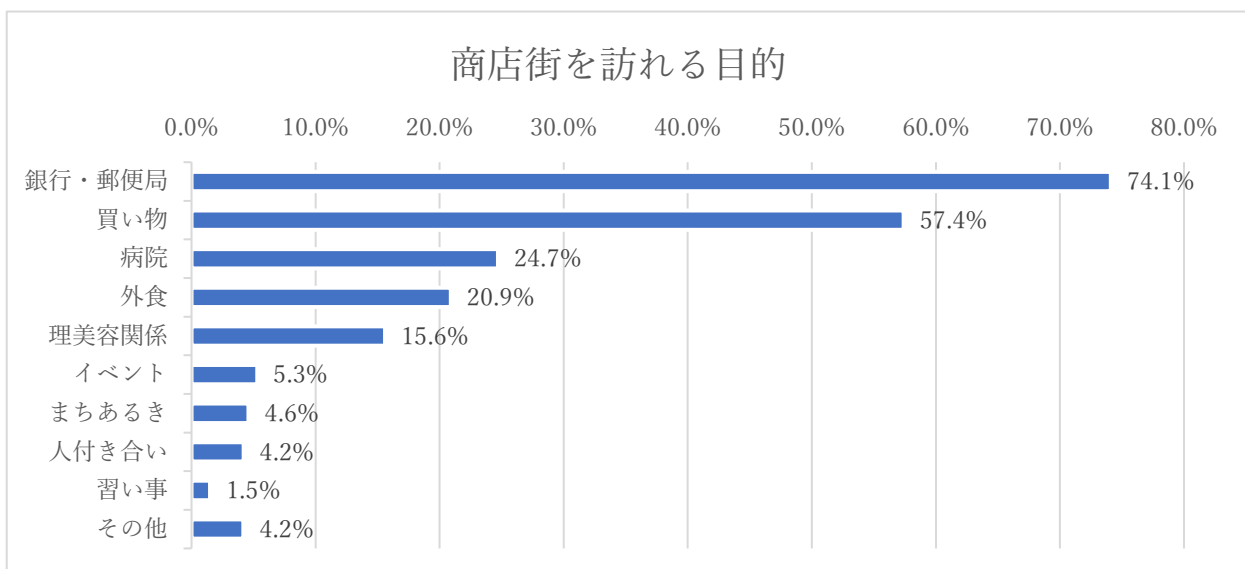
商店街を訪れる頻度は、「月 1 回程度」が最も多く、続いて「数ヶ月に 1 回」という回答が多く挙げられた。また、「利用しない」と回答した人が 19.3%おり、全体的に利用頻度が少ないことが窺えた。



※本設問は角田市内の商店街に限定しているため、設問 2－3 の回答結果と異なる数値となっている

問 3－2 商店街を訪れる目的について、お答えください。複数選択可。

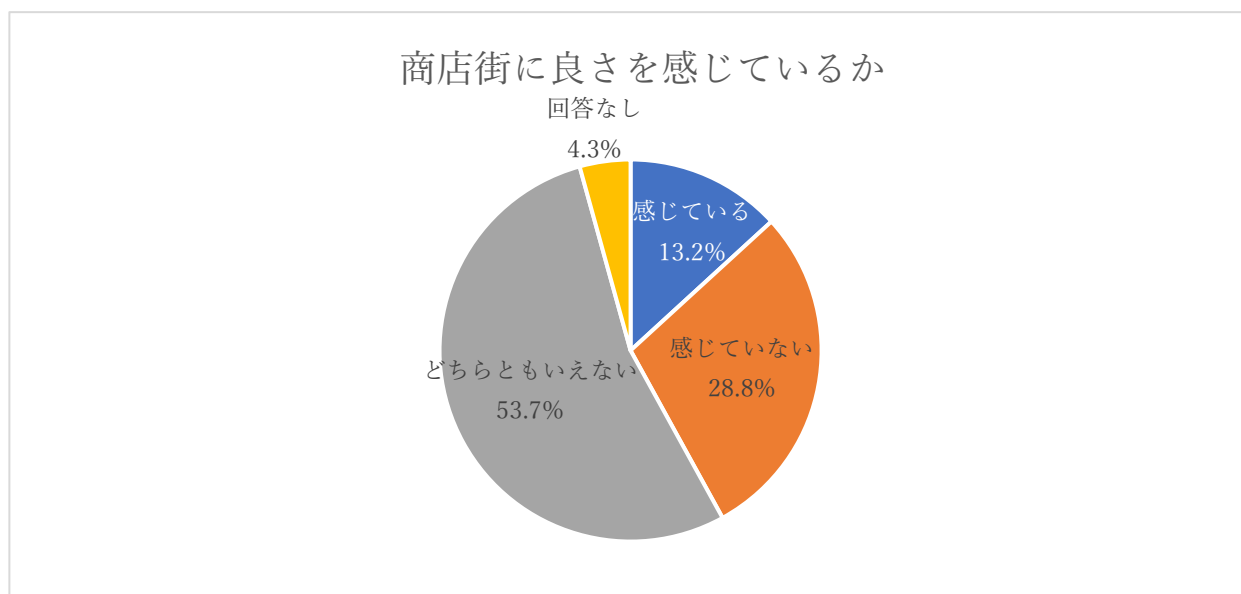
商店街を訪れる目的として、「銀行・郵便局」と回答した人が 7 割以上と最も多く、続いて「買い物」が多い結果であった。先の設問 3－1 の結果と合わせると、月 1 回程度または数ヶ月に 1 回の頻度で、銀行・郵便局や買い物に商店街を訪れる人が多いことが分かる。また、「その他」として、ケーキ屋、花屋、通勤、送迎の回答が挙げられた。



※複数回答有、設問 3－1 で利用しないと回答した人を除いた数（263件）に対する割合

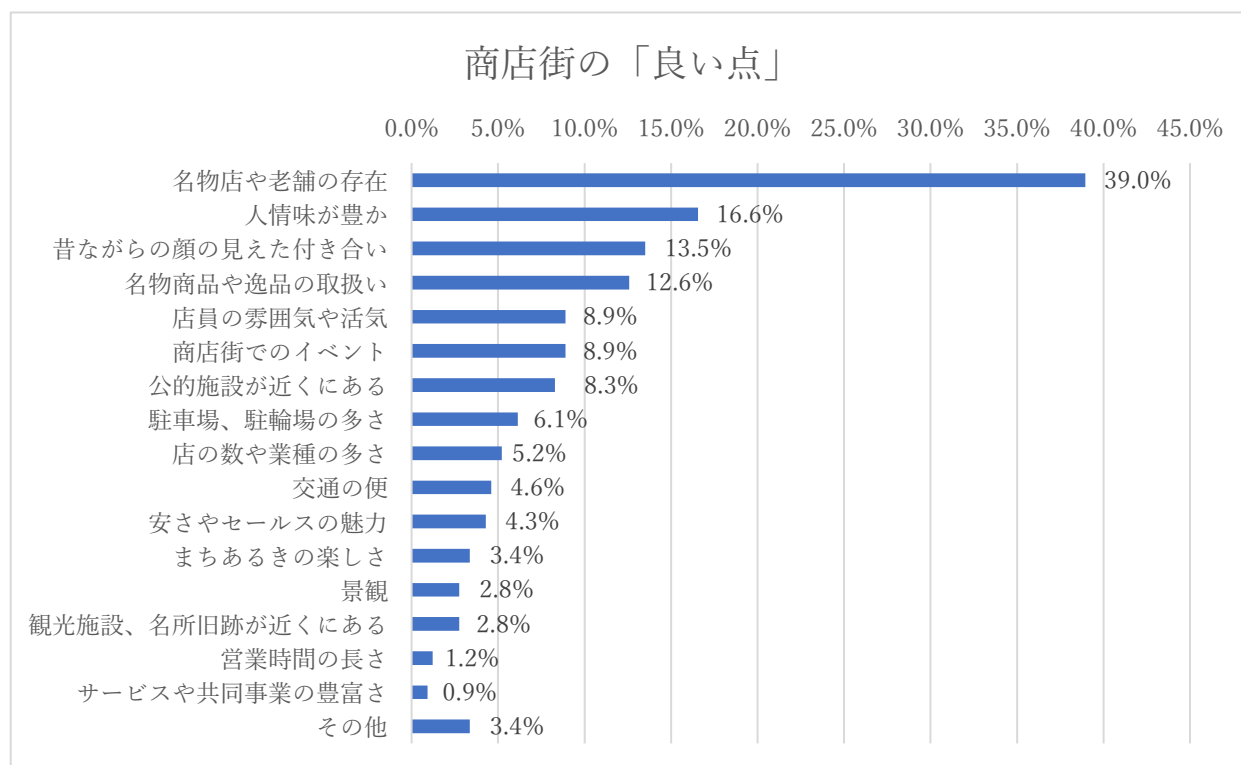
問3－3 商店街に「良さ」を感じていますか。

約半数の人が「どちらともいえない」との回答であった。また、商店街に良さを感じている人に比べて、感じていない人のほうが2倍以上いることが分かった。



問3－4 商店街の「良い点」は、どんなところですか。3つまで選択可。

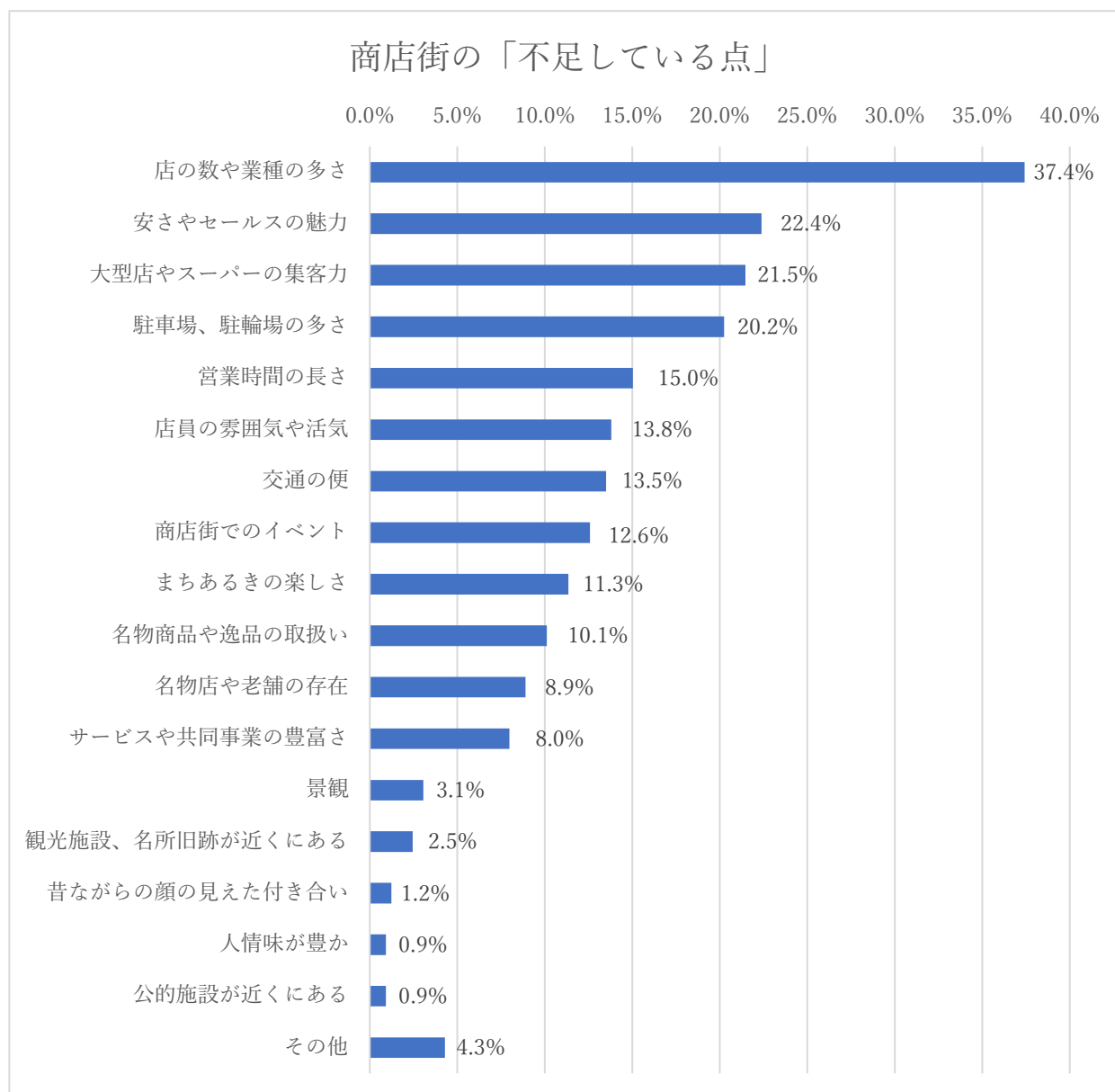
「名物店や老舗の存在」が最も多くあげられ、続いて「人情味が豊か」「昔ながらの顔の見た付き合い」「名物商品や逸品の取扱い」の回答が多かった。昔ながらの商店が多くある商店街ならではの点が評価されていることが窺える。



※複数回答有、全体の回答者数（326件）に対する割合

問 3－5 商店街の「不足している点」は、どんなところですか。3つまで選択可。

「店の数や業種の多さ」が最も多くあげられ、続いて「安さやセールスの魅力」「大型店やスーパーの集客力」「駐車場、駐輪場の多さ」の回答が多かった。後の自由記載欄でも、過去に比べて店の数が少なくなっていることや店舗の誘致を希望する旨の意見があげられている。



※複数回答有、全体の回答者数（326件）に対する割合

問 3－6 魅力的だと思う商店街の店舗や施設について、お答えください。

本設問への回答は、84件であった。本回答は自由記載であり、その内容を加味し分類した表を次に示す。

分類を見ると、商品と店舗に関する項目が多く挙げられており、「味が良い」「品揃え」の上位2項目に関しては、先の設問2－6 買い物・外食の際に重要視していることでも多く挙げられている回答項目であった。店主や店員の接客が良いことにも多く回答が集まった。

行きやすさ	1 駐車場	2. 4 %
商品	1 値段	10. 7 %
	2 品揃え	31. 0 %
	3 味が良い	32. 1 %
	4 テイクアウト可能	2. 4 %
	5 取り寄せ可能	1. 2 %
	6 他の店にない物	3. 6 %
	7 手作りの品	2. 4 %
	8 少量購入可能	3. 6 %
	9 品質	6. 0 %
	10 手軽・便利	2. 4 %
	11 お土産になる	2. 4 %
店内外状況	1 安心できる	2. 4 %
	2 雰囲気	6. 0 %
	3 可愛い	2. 4 %
	4 商品を探しやすい	1. 2 %
	5 衛生的	1. 2 %
	6 有名	3. 6 %
	7 家族で行ける	2. 4 %
	8 昔ながら	4. 8 %
	9 お店が沢山ある	1. 2 %
	10 イベントがある	2. 4 %
店主・店員態度	1 接客	19. 0 %
	2 商売に対する意気込み	1. 2 %
	3 親切	6. 0 %
	4 知識量	1. 2 %
サービス	1 値引き	1. 2 %

※本設問の回答者数（84件）に対する割合

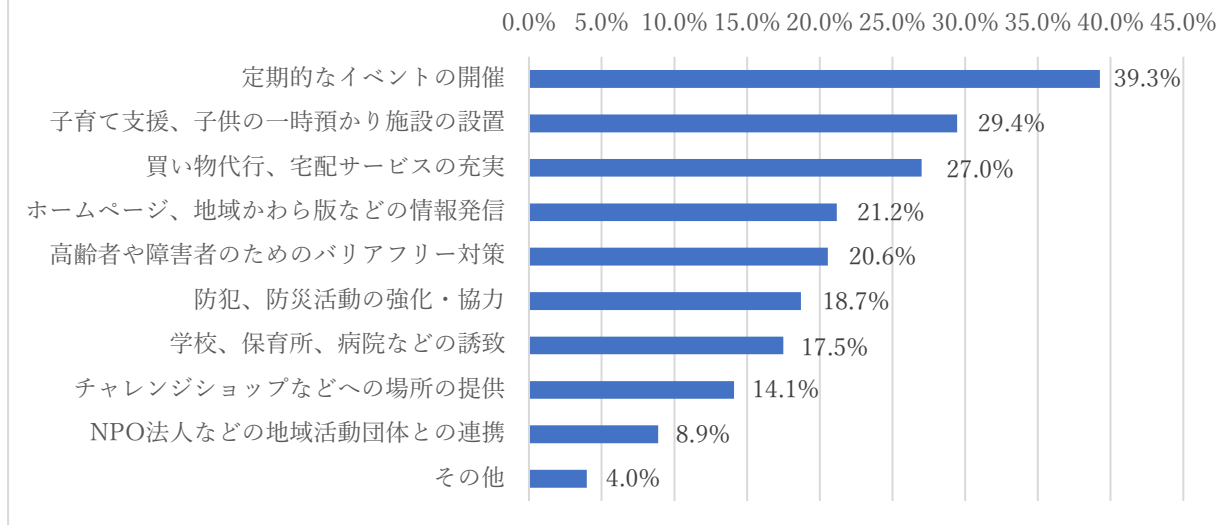
部分は、自由回答で多く記載されていた内容上位3項目を示す

問3-7 商店街が地域との関わりを深めるために役立つと思われる取組みは何だと思いますか。

3つまで選択可。

「定期的なイベントの開催」「子育て支援、子供の一時預かり施設の設置」「買い物代行、宅配サービスの充実」の順に回答が多かった。

地域と関わりを深めるための取り組み

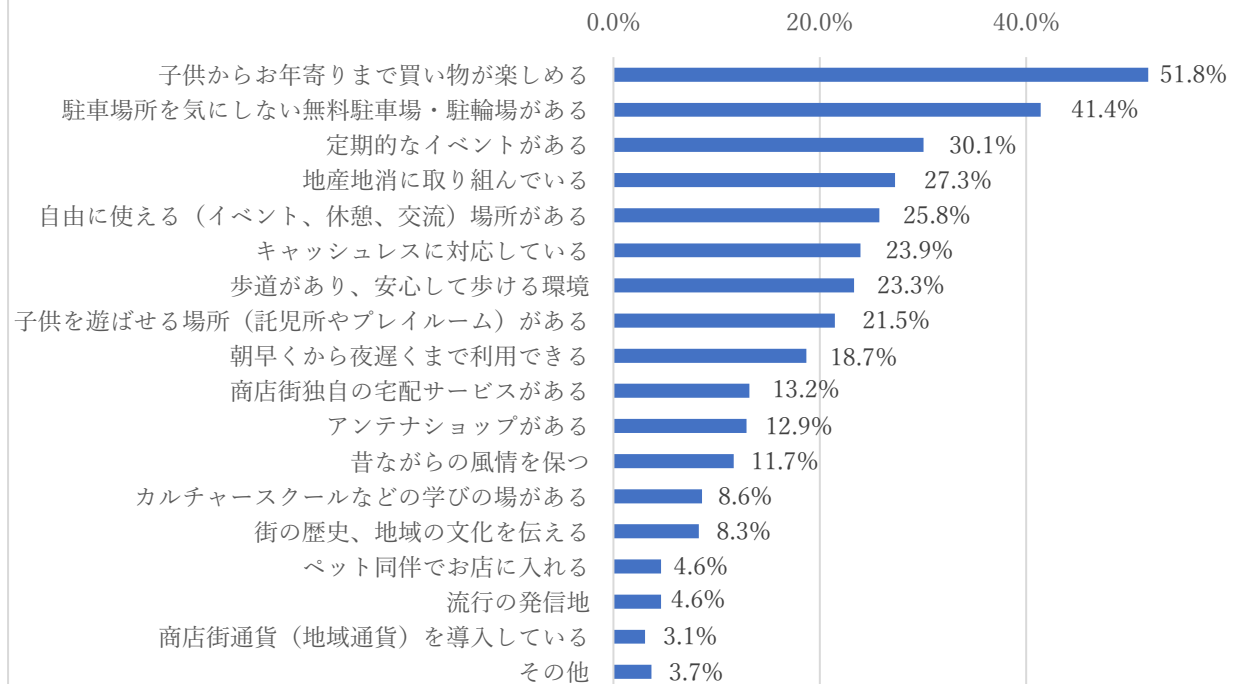


※複数回答有、全体の回答者数（326件）に対する割合

問3-8 これからの商店街はどのようにあって欲しいですか。5つまで選択可。

約半数の人が「子供からお年寄りまで買い物が楽しめる」と回答しており、買い物する人に優しい環境づくりや年代を問わない業種・商品が求められていることが窺えた。続いて、「駐車場を気にしない無料駐車場・駐輪場がある」との回答が多く、車社会の角田市では、車や自転車で駐車料金を気にせず商店街を訪問できる環境が望まれていることが分かった。

これからの商店街に望むもの



※複数回答有、全体の回答者数（326件）に対する割合

問３－９ あなたが考える、より多くの人に愛され、足を運んでもらえる商店街になるためのアイデア、商店街での買い物に関する困りごと、ご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。

本設問への回答は、１３９件であった。本回答は自由記載であり、その内容を加味し分類した表を次に示す。分類を見ていくと、商店街全体に関する意見が多く、中でも「子供・若者が楽しめる」「イベントの実施」を望む回答が多く挙げられたほか、交通に関して「駐車場の設置・整備」を望む意見が多く挙げられた。

交通	1 駐車場の設置・整備	12.2%
	2 公共交通機関の発展	2.9%
	3 歩道の整備	2.2%
個店	1 営業時間の延長	1.4%
	2 価格・品質・品揃え	6.5%
	3 気軽に入店できる雰囲気	5.8%
	4 キャッシュレス決済可能	1.4%
	5 御用聞き	0.7%
	6 情報発信の強化	10.8%
	7 接客態度の改善	1.4%
	8 魅力ある店舗・商品	7.9%
	9 名物となる店舗・商品	4.3%
	10 こだわりの店舗	0.7%
	11 地産地消	1.4%
商店街	1 空き店舗の活用	9.4%
	2 集まれる場所・休憩場所の設置	11.5%
	3 新しい店舗・施設の誘致（大型商業施設を除く）	6.5%
	4 大型商業施設の誘致	5.8%
	5 新たなチャレンジの応援	2.9%
	6 イベントの実施	15.1%
	7 子供・若者が楽しめる	16.5%
	8 若者の意見尊重	7.9%
	9 若者の活躍	1.4%
	10 商店の集約	5.8%
	11 送迎・宅配・移動販売	4.3%
	12 老若男女が楽しめる	10.8%
	13 まちあるきの楽しさ	4.3%
	14 店舗数・業種を増やす	3.6%
	15 その他	12.9%

※本設問の回答者数（１３９件）に対する割合

部分は、自由回答で多く記載されていた内容上位３項目を示す

4-2 集計結果2（クロス集計）

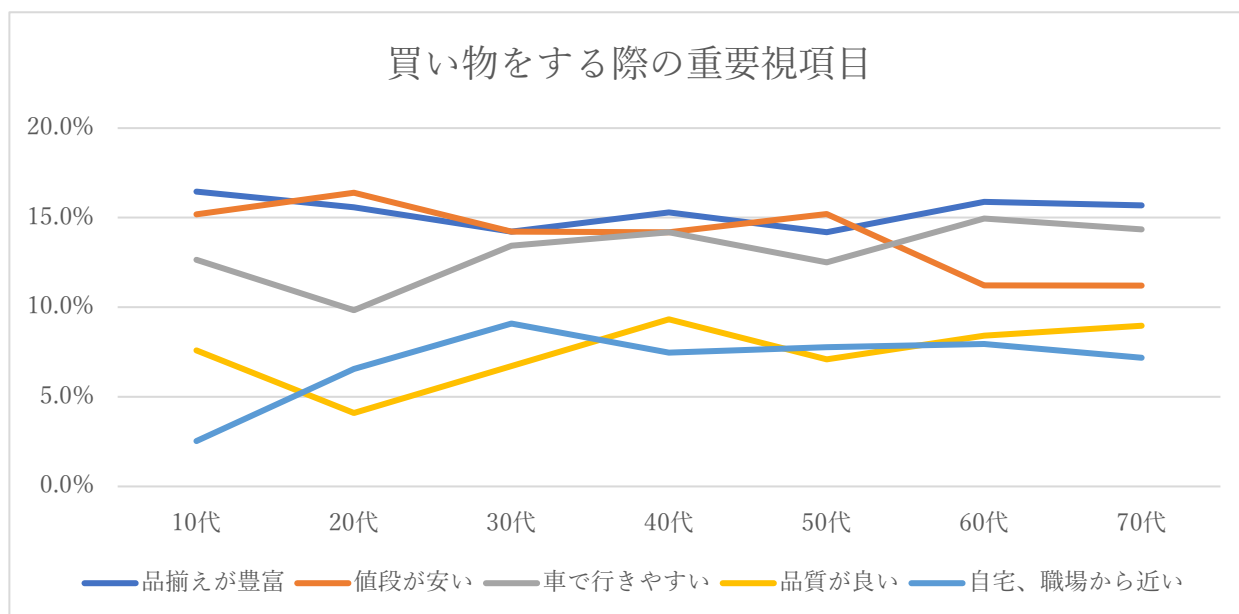
①年代別の傾向

年代別の特性を確認するため年代別で集計をまとめた。

問2-6 買い物の場所やお店を決める際に、重要視していることは何ですか。5つまで選択可。

全年代の上位項目は「品揃えが豊富」「値段が安い」「車で行きやすい」であり、どの年代でも重要視している点は変わらない。

「値段が安い」が、年代があがるにつれ減少傾向にある一方、「品質が良い」は増加傾向にあることから、年代によって商品やサービスを選ぶ際の価値観が変化していることが分かる。



問2-10 イベントやお店の情報は何かから取得していますか。複数選択可。

10代～40代は「SNS」の回答が多く、特に30代以下は4割以上がSNSから情報を取得している。

項目別に見ていくと、「新聞（折込チラシ含む）」や「広報かくだ」のように紙媒体があるものと、年代が上がるにつれ割合が高くなっている。

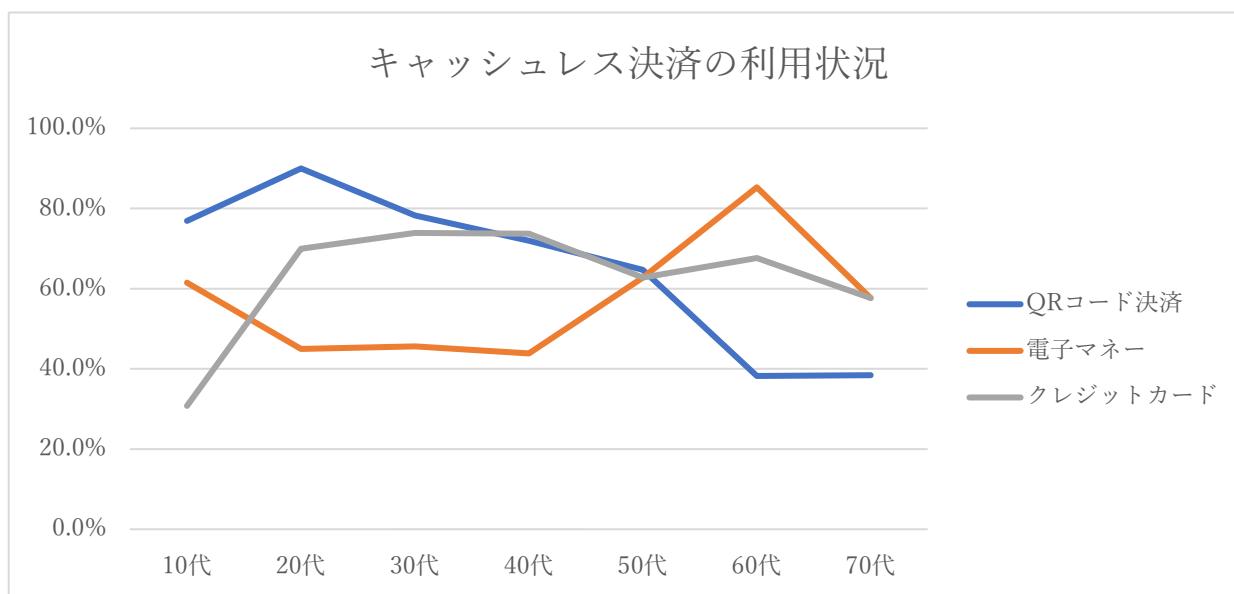
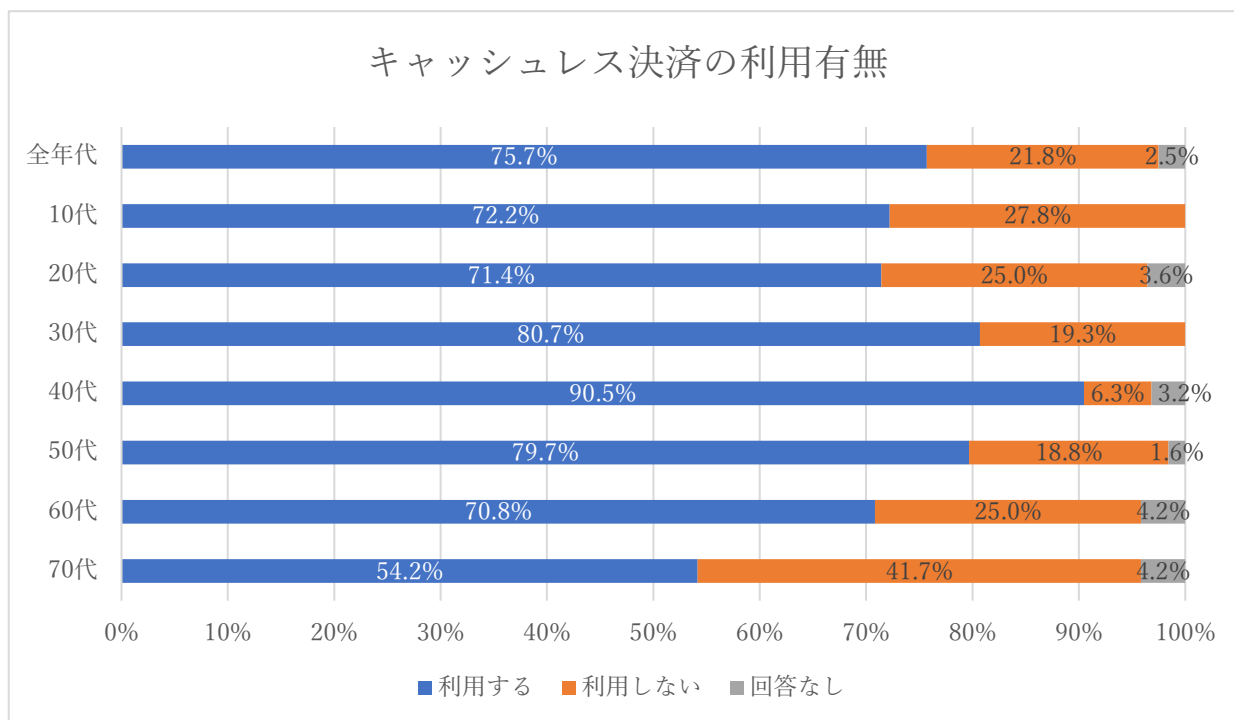
	全年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
テレビ	24.2%	13.9%	19.1%	8.8%	9.7%	16.7%	11.6%	14.4%
ラジオ	4.6%	0.0%	0.0%	1.0%	1.6%	3.3%	4.2%	1.1%
新聞（折込チラシ含む）	28.5%	5.6%	2.1%	7.8%	9.7%	16.7%	28.4%	25.6%
広報かくだ	22.4%	0.0%	8.5%	9.8%	13.7%	9.2%	16.8%	16.7%
SNS	48.2%	44.4%	40.4%	41.2%	29.0%	23.3%	13.7%	3.3%
雑誌（フリーペーパー含む）	7.7%	5.6%	2.1%	3.9%	5.6%	4.2%	4.2%	2.2%
家族・友人・知人	49.1%	30.6%	27.7%	22.5%	27.4%	25.8%	18.9%	33.3%
その他	3.7%	0.0%	0.0%	4.9%	3.2%	0.8%	2.1%	3.3%

部分は、各年代で最も利用の多い情報取得方法を示す

問 2－1 1 キャッシュレス決済利用状況について、お答えください。複数選択可。

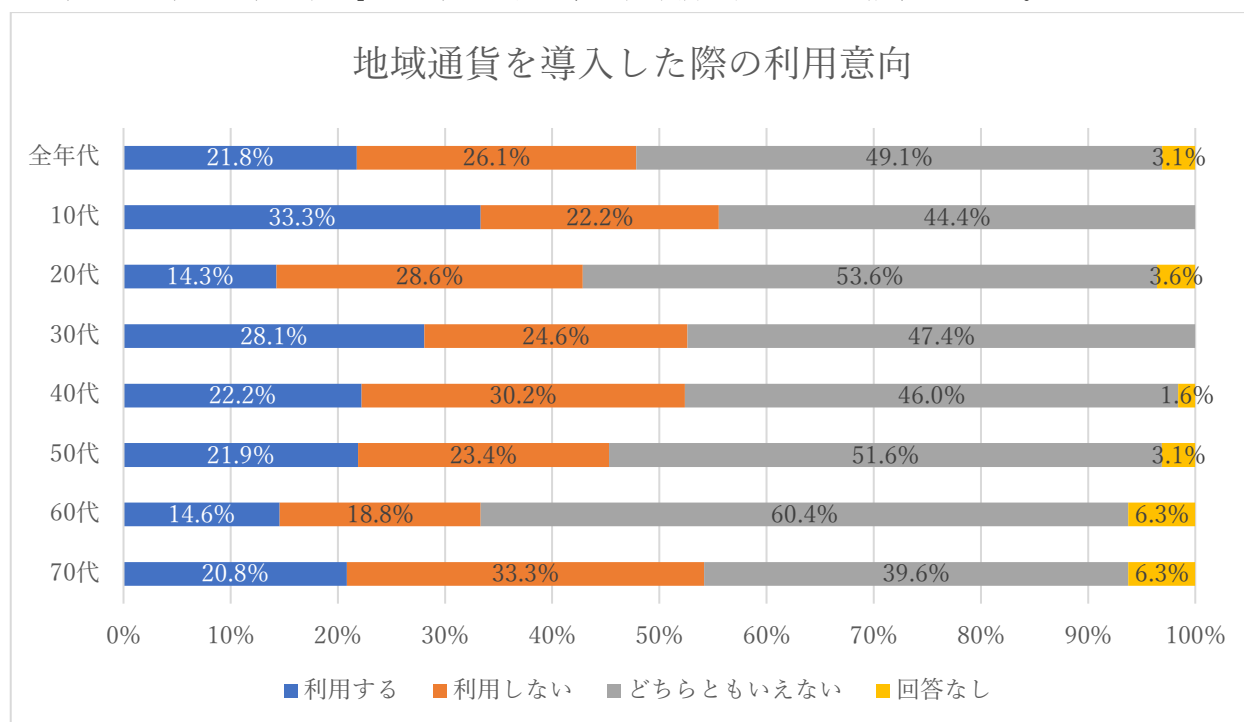
いずれの年代もキャッシュレス決済を利用している人が半数を超えており、キャッシュレス決済が浸透していることが窺える。特に40代の利用者割合が9割と最も多くなっている。

利用している決済方法を項目別に見ていくと、「QRコード決済」は若い年代の利用者が多く、年代が上がるにつれ少なくなっている。一方で、「電子マネー」は年代が上がるにつれ利用者が多くなっており、年代によって利用している決済方法に違いが見受けられた。



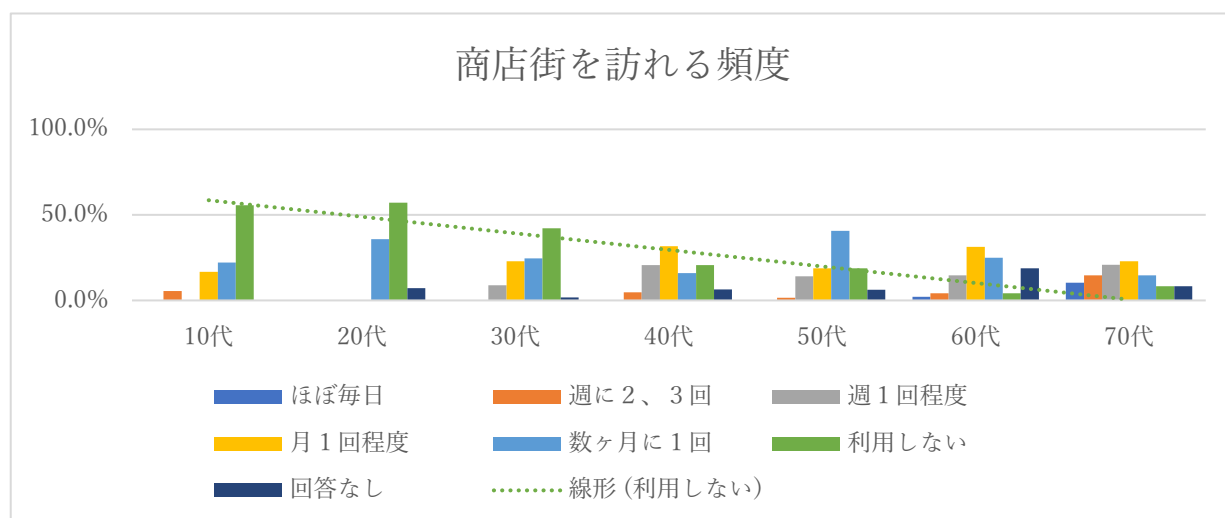
問 2－1 4 市内商店街で地域通貨（商店街独自のキャッシュレス決済）を導入した場合、利用しますか。

地域通貨の詳細が提示されていないため、全ての年代において「どちらともいえない」の回答が多かった。
20代と60代の「利用する」と回答した人は、2割未満と特に少ない結果となった。



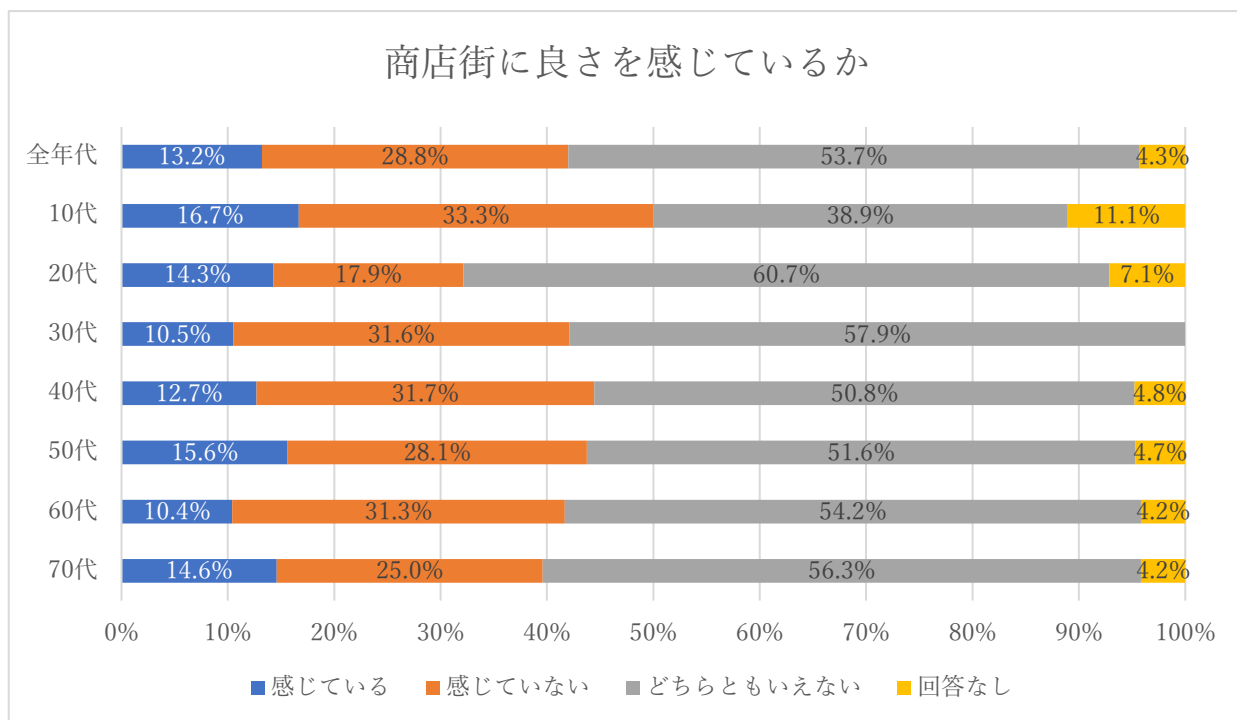
問 3－1 商店街を訪れる頻度について、お答えください。

10代～20代は、半数以上が「利用しない」と回答しており、商店街を利用しない人の割合は年代が上がるにつれ、大幅に低くなっている。



問 3－3 商店街に「良さ」を感じていますか。

全ての年代において、商店街に良さを感じている人よりも良さを感じていない人の割合が多く、商店街が厳しい状況にあることが窺える。



問3-4 商店街の「良い点」は、どんなところですか。3つまで選択可。

全ての年代で「名物店や老舗の存在」が最も多く、続いて「人情味が豊か」「昔ながらの顔の見た付き合」などの人に関連する項目に対して回答が多かった。

30代～50代は、「名物商品や逸品の取扱い」の回答が多かった。

年代別の上位5項目一覧

	全年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
店の数や業種の多さ	5.2%	22.2%	0.0%	12.3%	1.6%	1.6%	4.2%	4.2%
名物店や老舗の存在	39.0%	27.8%	32.1%	45.6%	44.4%	43.8%	41.7%	22.9%
名物商品や逸品の取扱い	12.6%	5.6%	3.6%	19.3%	20.6%	12.5%	8.3%	6.3%
店員の雰囲気や活気	8.9%	11.1%	10.7%	1.8%	9.5%	9.4%	12.5%	10.4%
昔ながらの顔の見た付き合	13.5%	16.7%	3.6%	12.3%	11.1%	12.5%	22.9%	14.6%
人情味が豊か	16.6%	16.7%	17.9%	19.3%	9.5%	15.6%	22.9%	16.7%
公的施設が近くにある	8.3%	0.0%	3.6%	10.5%	9.5%	7.8%	10.4%	8.3%
商店街でのイベント	8.9%	5.6%	17.9%	10.5%	11.1%	7.8%	6.3%	4.2%
駐車場、駐輪場の多さ	6.1%	0.0%	3.6%	1.8%	3.2%	1.6%	14.6%	16.7%
観光施設、名所旧跡が近くにある	2.8%	5.6%	7.1%	5.3%	1.6%	3.1%	0.0%	0.0%
景観	2.8%	5.6%	7.1%	1.8%	1.6%	4.7%	2.1%	4.2%

※上位5項目を 1位 2位 3位 4位 5位 に着色している。

問3-5 商店街の「不足している点」は、どんなところですか。3つまで選択可。

年代によって変動があるが、「店の数や業種の多さ」「安さやセールスの魅力」「大型店やスーパーの集客力」への回答が多かった。

10代は「商店街でのイベント」が不足していると感じる人が多く、60代は「まちあるきの楽しさ」が不足していると感じる人が多いという特徴的な回答であった。

年代別の上位5項目一覧

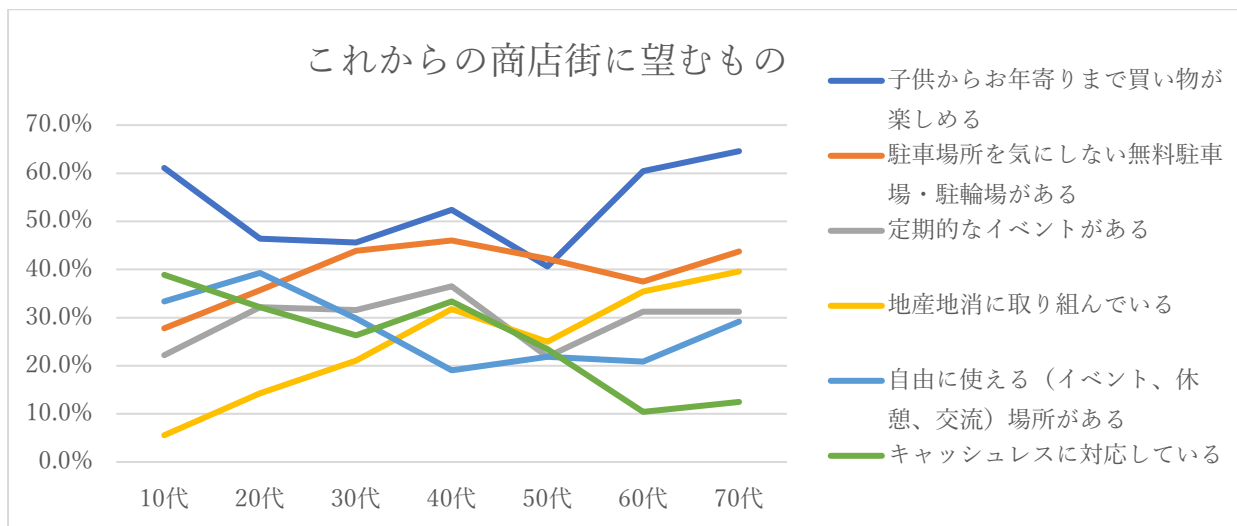
	全年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
店の数や業種の多さ	37.4%	61.1%	35.7%	45.6%	44.4%	34.4%	29.2%	22.9%
安さやセールスの魅力	22.4%	0.0%	7.1%	24.6%	30.2%	20.3%	31.3%	2.1%
名物店や老舗の存在	8.9%	0.0%	3.6%	5.3%	4.8%	9.4%	16.7%	16.7%
名物商品や逸品の取扱い	10.1%	0.0%	0.0%	5.3%	15.9%	12.5%	14.6%	10.4%
店員の雰囲気や活気	13.8%	22.2%	25.0%	12.3%	15.9%	10.9%	12.5%	8.3%
大型店やスーパーの集客力	21.5%	11.1%	35.7%	26.3%	20.6%	20.3%	14.6%	20.8%
サービスや共同事業の豊富さ	8.0%	16.7%	7.1%	5.3%	9.5%	6.3%	12.5%	4.2%
商店街でのイベント	12.6%	27.8%	10.7%	14.0%	7.9%	14.1%	16.7%	6.3%
駐車場、駐輪場の多さ	20.2%	16.7%	17.9%	26.3%	19.0%	23.4%	18.8%	14.6%
交通の便	13.5%	16.7%	17.9%	15.8%	11.1%	12.5%	12.5%	12.5%
営業時間の長さ	15.0%	11.1%	7.1%	26.3%	15.9%	18.8%	10.4%	6.3%
まちあるきの楽しさ	11.3%	5.6%	7.1%	5.3%	11.1%	15.6%	20.8%	8.3%

※上位5項目を 1位 2位 3位 4位 5位 に着色している。

問3-8 これからの商店街はどのようにあってほしいですか。5つまで選択可。

全ての年代で「子供からお年寄りまで買い物が楽しめる」を望む回答が多く、特に10代と60代～70代の対極にある年代からの回答が多かった。

地産地消への取り組みは、年代が上がるにつれ増加傾向にある一方、キャッシュレスへの対応は、減少傾向にある。



②地区別の傾向

地区別の特性を確認するため地区別で集計をまとめた。

問 2－1 日常的に必要な商品は、市内と市外どちらで購入することが多いですか。

東根地区は、全ての品目で市外購入率が高いという特徴的な結果であった。

品目別に見ていくと、「書籍・文房具」は小田地区、東根地区、西根地区では市外購入率が高いことが分かる。また、その他の買回品については、全ての地区で市外購入率が高かった。

<最寄り品>

	生鮮食料品		その他食料品		日用品・雑貨		医療・化粧品	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
角田	90.7%	7.3%	90.7%	7.3%	78.8%	18.5%	72.2%	21.9%
横倉	83.9%	6.5%	83.9%	12.9%	90.3%	6.5%	67.7%	29.0%
小田	85.7%	14.3%	100.0%	0.0%	85.7%	14.3%	71.4%	28.6%
枝野	84.6%	7.7%	92.3%	0.0%	92.3%	7.7%	92.3%	7.7%
藤尾	100.0%	0.0%	95.2%	4.8%	90.5%	9.5%	81.0%	19.0%
東根	42.9%	57.1%	28.6%	71.4%	28.6%	71.4%	28.6%	71.4%
桜	97.4%	2.6%	89.7%	10.3%	82.1%	12.8%	74.4%	20.5%
北郷	72.2%	22.2%	72.2%	25.0%	66.7%	27.8%	55.6%	30.6%
西根	47.6%	47.6%	52.4%	42.9%	47.6%	47.6%	57.1%	38.1%

<買回品>

	衣料品		時計・メガネ等		書籍・文房具		電化製品		スポーツ用品	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
角田	21.2%	73.5%	8.6%	80.8%	62.9%	29.8%	6.0%	86.8%	7.3%	76.8%
横倉	32.3%	64.5%	16.1%	71.0%	67.7%	25.8%	12.9%	80.6%	16.1%	67.7%
小田	14.3%	85.7%	14.3%	85.7%	28.6%	71.4%	0.0%	100.0%	0.0%	57.1%
枝野	30.8%	61.5%	15.4%	69.2%	53.8%	38.5%	7.7%	92.3%	0.0%	69.2%
藤尾	38.1%	61.9%	19.0%	81.0%	57.1%	42.9%	19.0%	81.0%	19.0%	66.7%
東根	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	42.9%	57.1%	0.0%	100.0%	0.0%	85.7%
桜	15.4%	76.9%	7.7%	84.6%	59.0%	33.3%	5.1%	89.7%	7.7%	66.7%
北郷	22.2%	69.4%	5.6%	75.0%	50.0%	38.9%	0.0%	86.1%	0.0%	69.4%
西根	14.3%	81.0%	4.8%	85.7%	38.1%	52.4%	0.0%	85.7%	0.0%	81.0%

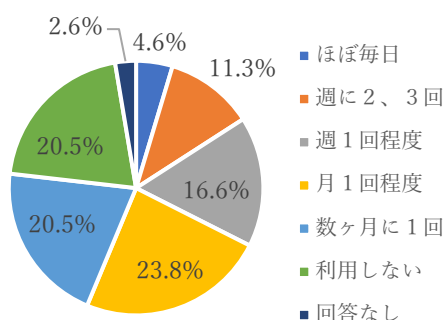
部分は、市内購入率よりも市外購入率が上回る箇所を示す

問 3－1 商店街を訪れる頻度について、お答えください。

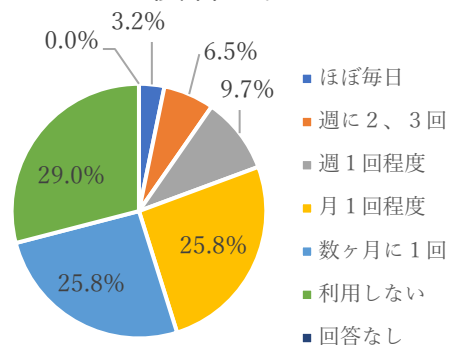
商店街から離れた「小田地区」「枝野地区」「藤尾地区」で利用者の割合が高かった。

「横倉地区」「東根地区」の利用者の割合は低く、商店街が含まれる「角田地区」においても、利用しないと回答した人が2割いた。

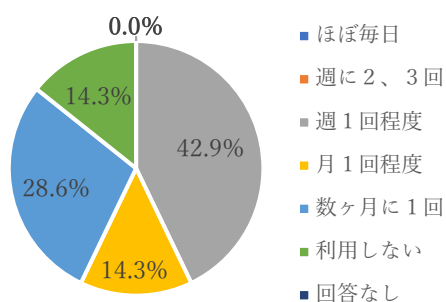
角田地区



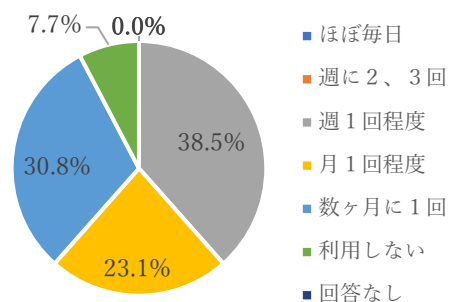
横倉地区



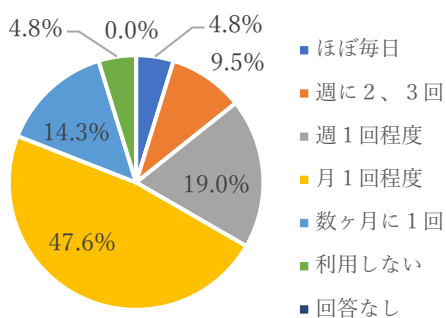
小田地区



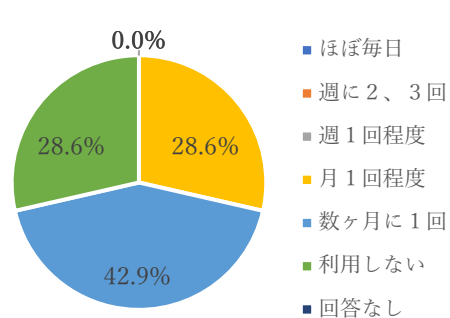
枝野地区

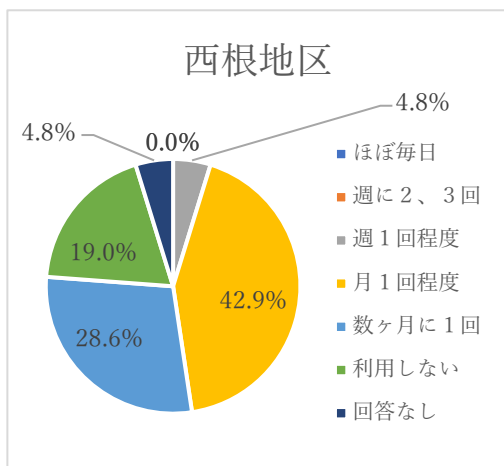
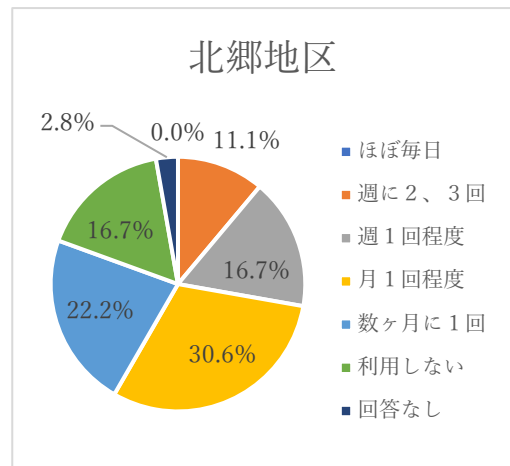
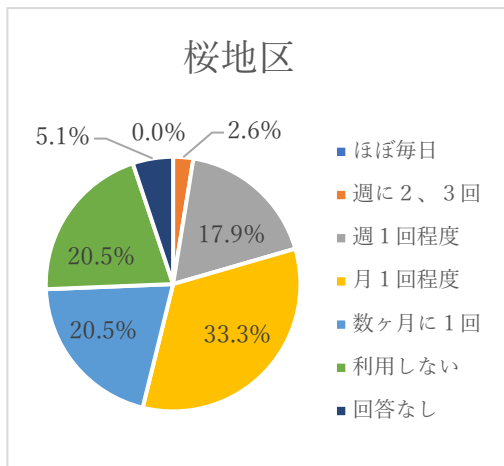


藤尾地区



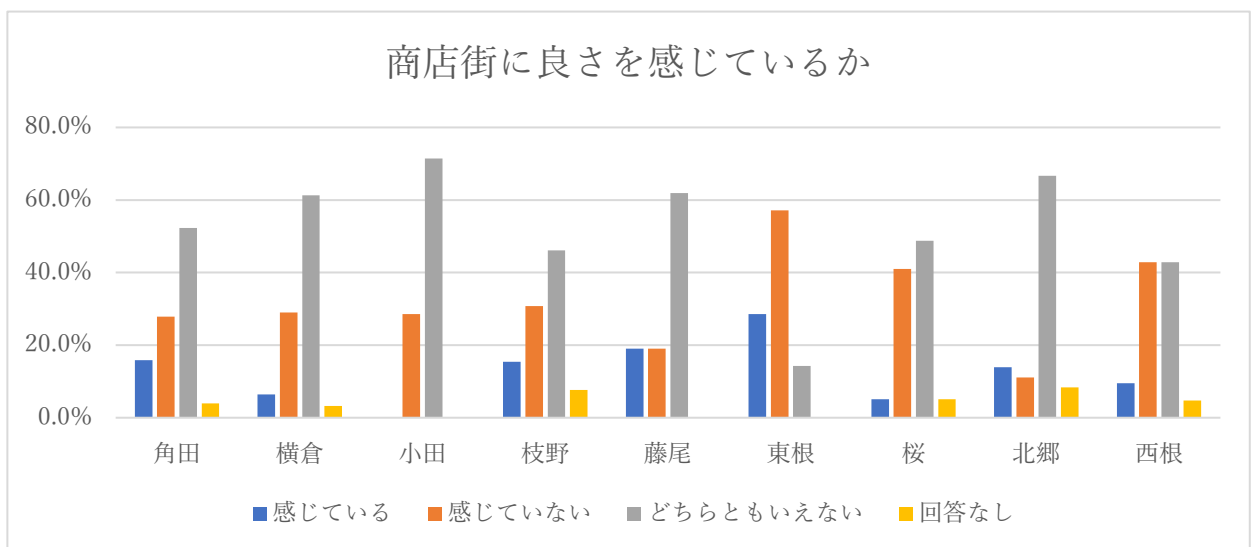
東根地区





問3-3 商店街に「良さ」を感じていますか。

ほとんどの地区で「どちらともいえない」の回答が多かったが、東根地区だけ「感じていない」の回答が多かった。先の設問2-1の結果と合わせると、「商店街に良さを感じていないから市外での購入率が高い」又は「市外での購入率が高いから商店街に良さを感じていない」ことが窺える。



③商店街の利用頻度、商店街に良さを感じているかどうかによる傾向の違い

商店街を活性化するためには、利用頻度の高い層へのサービスの充実と、利用していない層への利用促進を図る必要があると考える。

そのため、商店街の利用頻度、商店街に良さを感じているかどうかをテーマとしてクロス集計を実施した。

問 2－6 買い物の場所やお店を決める際に、重要視していることは何ですか。5つまで選択可。

各項目を＜商店街の利用頻度別＞と＜商店街に良さを感じている/感じていない＞をそれぞれ選択した人で比較すると、いずれの場合も上位3項目に関しては、全回答と同じ項目が選ばれていた。

商店街をあまり利用しない人、商店街に良さを感じていない人は「色々なお店が多い」を重要視し、一方で、商店街をよく利用する人、商店街に良さを感じている人は「品質が良い」を重要視している。

	全回答	毎日	週に1～3回	月1回	数ヶ月に1回	利用しない	感じている	感じていない
品揃えが豊富	67.5%	66.7%	63.8%	78.5%	71.2%	55.6%	62.8%	74.5%
値段が安い	61.3%	66.7%	60.0%	60.2%	64.4%	65.1%	65.1%	63.8%
車で行きやすい	59.8%	66.7%	61.3%	59.1%	65.8%	54.0%	55.8%	57.4%
品質が良い	34.4%	①55.6%	45.0%	34.4%	37.0%	15.9%	③44.2%	27.7%
自宅、職場から近い	33.4%	44.4%	38.8%	32.3%	23.3%	38.1%	51.2%	27.7%
色々なお店が多い	19.6%	②0.0%	15.0%	17.2%	28.8%	22.2%	④7.0%	23.4%

①商店街の利用頻度が高い程「品質が良い」を重要視する傾向にある。

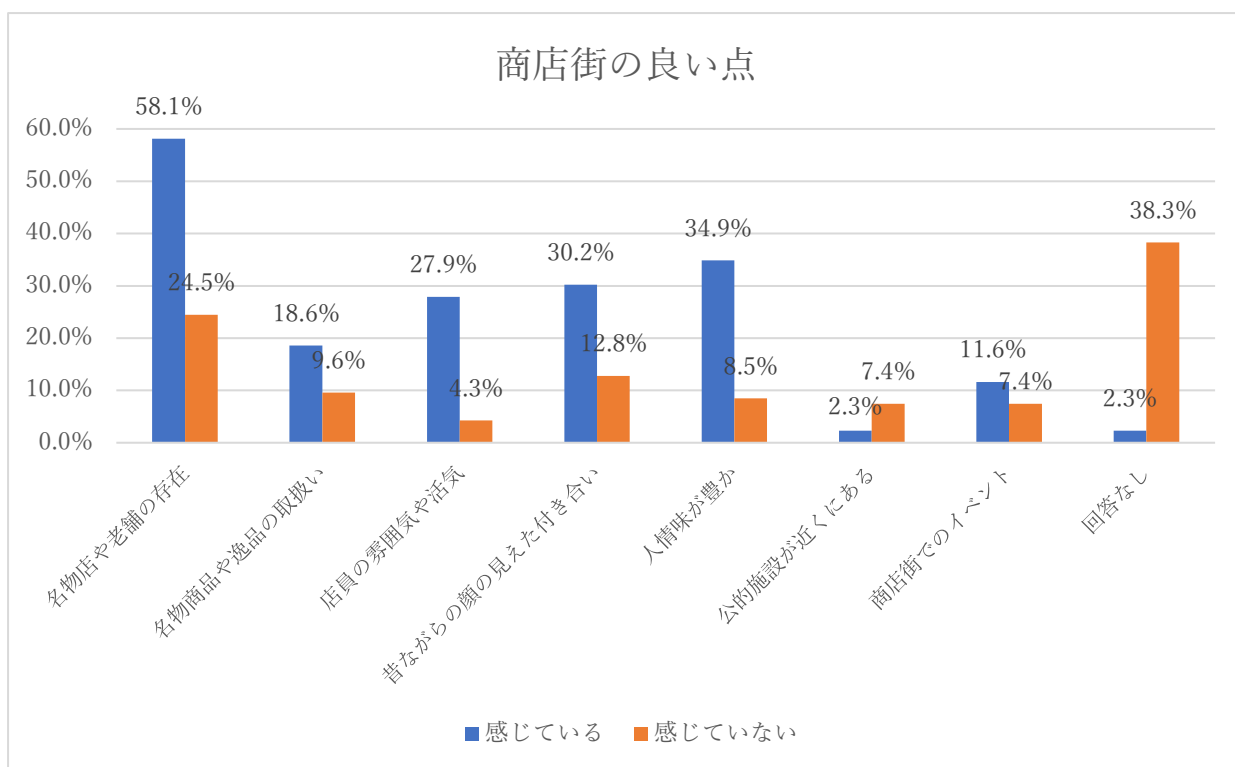
②商店街の利用頻度が低い程「色々なお店が多い」を重要視する傾向にある。

③商店街に良さを感じている人は、「品質が良い」、「自宅、職場から近い」を重要視する傾向にある。

④商店街に良さを感じていない人は、「色々なお店が多い」を重要視する傾向にある。

問 3－4 商店街の「良い点」は、どんなところですか。3つまで選択可。

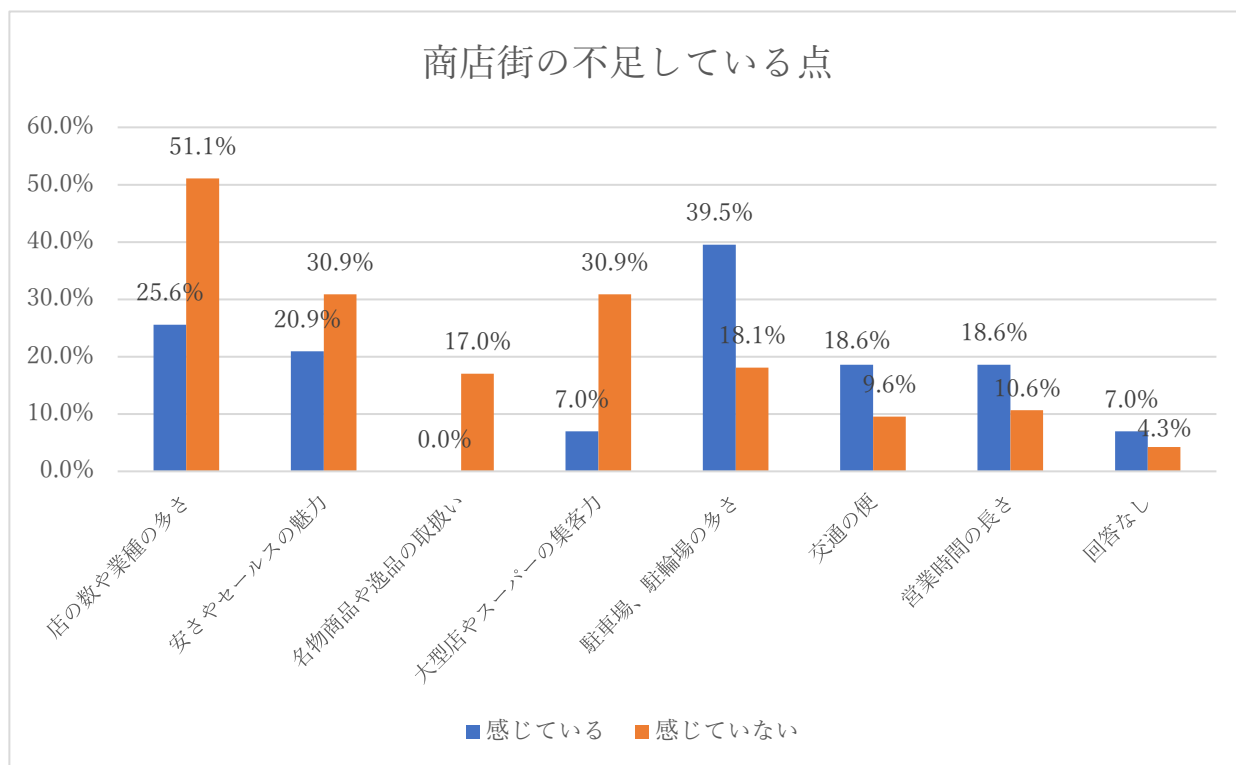
最も多く挙げられたのは、商店街に良さを感じている人も感じていない人も「名物店や老舗の存在」だった。良さを感じている人は、「人情味が豊か」「昔ながらの顔の見た付き合い」など、昔ながらの商店街をイメージできる項目が多く挙げられた。



問 3－5 商店街の「不足している点」は、どんなところですか。3つまで選択可。

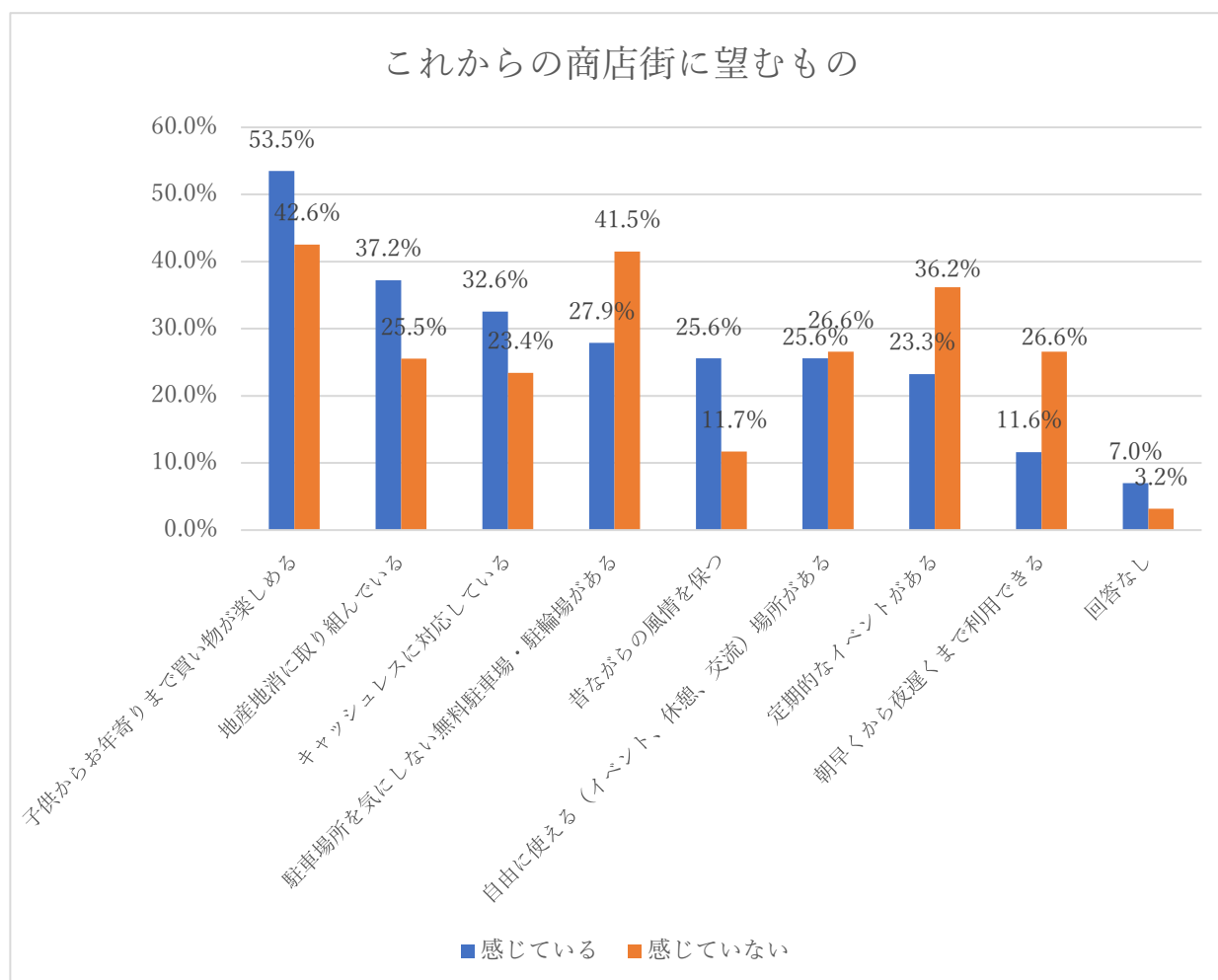
商店街に良さを感じている人は「駐車場、駐輪場の多さ」の回答が多かった。

商店街に良さを感じていない人の約半数が「店の数や業種の多さ」が不足していると感じており、この項目は、先の設問 2－6 で買い物の際に最も重要視されている項目でもある。続いて、「安さやセールスの魅力」「大型店やスーパーの集客力」の回答が多かった。



問3－8 これからの商店街はどのようにあってほしいですか。5つまで選択可。

最も多く挙げられたのは、商店街に良さを感じている人も感じていない人も「子供からお年寄りまで買い物が楽しめる」だった。続いて、商店街に良さを感じている人は「地産地消に取り組んでいる」「キャッシュレス決済に対応している」が多く、商店街に良さを感じていない人は「駐車場を気にしない無料駐車場・駐輪場がある」「定期的なイベントがある」が多く挙げられた。商店街の感じ方によって、これからの商店街に望むものが異なる結果だった。



5 アンケート調査票

回答期限 7月25日（金）まで

商店街振興のための買い物環境・意識に関する 市民アンケートご協力のお願い

商店街は、雇用創出や歴史・文化の継承など、コミュニティにおいて人の繋がりをつくる場として重要な役割を果たしています。しかし、近年の角田市内の商店街では、店主の高齢化や後継者不足、大型店との競争激化による来街者の減少等を理由に、空き店舗及び空き地が増加し、商店街の賑わいが減少している状況にあります。

本アンケートは、消費者ニーズや購買行動、商店街に対する消費者の皆さまの意識などを調査することによって、社会経済や地域環境の変化に適應し、地域住民に愛される商店街づくりに役立てるために、角田市が実施するものです。

本調査で回答いただいた内容は、情報管理を徹底し、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはございません。角田市の商業振興の基礎資料としてのみ、活用させていただきますので、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月

角田市産業建設部 商工観光課

【回答方法】

記入いただきました調査票は、同封されている返信用封筒に入れて、7月25日（金）までに郵便ポストに入れてください。

【ご記入にあたってのお願い】

- ・調査票へのご回答は、お送りした封筒のあて名のご本人がご記入ください。
ご本人のご回答が難しい場合のみ、ご家族の方がご回答ください。
- ・調査票は、無記名ですので、お名前をご記入いただく必要はございません。
また、ご記入にあたっては、なるべくボールペンや濃い鉛筆などをご使用ください。
- ・ご記入にあたっては、別紙記載例をご参照ください。
- ・本アンケートにおける「商店街」とは、裏面に示す  エリアとさせていただきます。

本アンケートに関して、ご不明点等ございましたら、下記担当までお問合せください。

【担当】角田市役所 産業建設部 商工観光課 商工振興係

電話：0224-63-2120 メール：syoko@city.kakuda.lg.jp

本アンケート調査における商店街エリア ■ 箇所



1 あなた自身に関して

問1 性別をお答えください。

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問2 令和7年6月1日現在の年齢をお答えください。

1 19歳以下	2 20-29歳	3 30-39歳	4 40-49歳
5 50-59歳	6 60-69歳	7 70歳以上	

問3 お住まいの地区（現在居住している地区）をお答えください。

1 角田地区	2 横倉地区	3 小田地区
4 枝野地区	5 藤尾地区	6 東根地区
7 桜地区	8 北郷地区	9 西根地区

問4 普段の生活で車を運転しますか。

1 運転します	2 運転しません
---------	----------

2 あなたの買い物状況に関して

問1 日常的に必要な商品は、市内と市外どちらで購入することが多いですか。

各品目について、市内の場合は○印、市外の場合は市町村名を記入してください。

品目	日常的に必要な商品の購入場所	
	市内	市外（市町村名を記入）
生鮮食料品		
その他食料品		
日用品・雑貨		
医療・化粧品		
衣料品		
時計・メガネ・アクセサリ		
書籍・文具		
電化製品		
スポーツ用品		

問2 日常的に必要な商品は、どこで購入していますか。3つまで選んで○印をつけてください。

品目	日常的に必要な商品の購入先							
	商店街	スーパー	ドラッグストア	コンビニ	大型商業施設	ネット通販	その他	購入しない
生鮮食料品								
その他食料品								
日用品・雑貨								
医療・化粧品								
衣料品								
時計・メガネ・アクセサリ								
書籍・文具								
電化製品								
スポーツ用品								

問3 次のお店は、どのくらいの頻度で利用していますか。1つ選んで○印をつけてください。

購入先	あてはまる利用頻度					
	ほぼ毎日	週に2,3回	週1回程度	月1回程度	数ヶ月に1回	利用しない
商店街						
スーパー						
ドラッグストア						
コンビニ						
大型商業施設						
ネット通販						

問4 次のお店に行くために、最も利用する交通手段は何ですか。1つ選んで○印をつけてください。

購入先	最も利用する交通手段							
	徒歩	自転車	バイク	自家用車	タクシー	バス	鉄道	利用しない
商店街								
スーパー								
ドラッグストア								
コンビニ								
大型商業施設								

問5 よく買い物する時間帯と曜日について○印をつけてください。(複数選択可)

購入先	買い物される時間帯・曜日									
	時間帯	月	火	水	木	金	土	日	不特定曜日	利用しない
商店街	午前・午後・夕刻 ・夜・不特定									
スーパー	午前・午後・夕刻 ・夜・不特定									
ドラッグストア	午前・午後・夕刻 ・夜・不特定									
コンビニ	午前・午後・夕刻 ・夜・不特定									
大型商業施設	午前・午後・夕刻 ・夜・不特定									
ネット通販	午前・午後・夕刻 ・夜・不特定									

問6 買い物の場所やお店を決める際に、重要視していることは何ですか。

次の項目から5つまで選んで○印をつけてください。

- | | | | |
|------------------|-----------------|------------------|---------|
| 1 品揃えが豊富 | 2 そこでは購入できない | 3 値段が安い | 4 品質が良い |
| 5 自宅、職場から近い | 6 車で行きやすい | 7 公共交通機関の交通の便が良い | |
| 8 色々なお店が多い | 9 買い物以外でも楽しめる | 10 家族連れで行きやすい | |
| 11 朝早くから営業している | 12 夜遅くまで営業している | 13 セールが開催される | |
| 14 ポイントカードが利用できる | 15 お店の雰囲気が良い | 16 店員と顔なじみ | |
| 17 キャッシュレス決済が可能 | 18 アフターサービスが良い | 19 接客態度が良い | |
| 20 クーポン、割引券が使える | 21 宅配サービスが利用できる | 22 まとめ買いが可能 | |
| 23 その他 (|) | | |

問7 どのくらいの頻度で外食していますか。

次のお店について、あてはまる利用頻度を1つ選んで○印をつけてください。

外食先	あてはまる利用頻度					
	ほぼ毎日	週に2,3回	週1回程度	月1回程度	数ヶ月に1回	外食しない
商店街の飲食店						
その他の飲食店						

問8 外食する理由について、次の項目から3つまで選んで○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 美味しいものを食べたい | 2 友人や知人との会話を楽しみたい |
| 3 家族との会話を楽しみたい | 4 買い物や食事を作る時間がない |
| 5 買い物や食事を作るのが面倒 | 6 お祝いや記念日 |
| 7 息抜きや気分転換 | |
| 8 自分へのご褒美 | 9 その他 (|
| |) |

問9 外食先を決める際に、重要視していることは何ですか。

次の項目から5つまで選んで○印をつけてください。

- | | | | |
|------------------|---------------------|------------------|--------|
| 1 メニューが豊富 | 2 地産地消を推進している | 3 値段が安い | 4 美味しい |
| 5 料理の量が多い | 6 自宅、職場から近い | 7 公共交通機関の交通の便が良い | |
| 8 車で行きやすい | 9 料理の提供時間が早い | 10 待ち時間が少ない | |
| 11 朝早くから営業している | 12 夜遅くまで営業している | 13 家族連れで行きやすい | |
| 14 ポイントカードが利用できる | 15 お店の雰囲気が良い、清潔感がある | | |
| 16 地元の飲食店 | 17 キャッシュレス決済が可能 | 18 ドライブスルーがある | |
| 19 接客態度が良い | 20 クーポン、割引券が使える | 21 店員と顔なじみ | |
| 22 口コミやレビューが良い | 23 その他（ | | ） |

問10 イベントやお店の情報は何かから取得していますか。○印をつけてください。（複数選択可）

- | | | | | |
|-----------------|------------|---------------|---------|-------|
| 1 テレビ | 2 ラジオ | 3 新聞（折込チラシ含む） | 4 広報かくだ | 5 SNS |
| 6 雑誌（フリーペーパー含む） | 7 家族・友人・知人 | 8 その他（ | | ） |

問11 キャッシュレス決済利用状況について、○印をつけてください。（複数選択可）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 QRコード決済（PayPay、d払い等） | 2 電子マネー（Suica、nanaco等） |
| 3 クレジットカード | 4 利用していない →問13へ |

問12 キャッシュレス決済を利用する理由について、○印をつけてください。（複数選択可）

→回答後、問14へ

- | | | |
|-------------|----------------------|-----------|
| 1 ポイント還元がある | 2 現金を出す必要が無く手軽・会計が早い | 3 持ち歩きやすい |
| 5 お金の管理が楽 | 6 人に勧められて | 7 その他（ |

問13 キャッシュレス決済を利用しない理由について、○印をつけてください。（複数選択可）

- | | | | |
|--------------|------------|----------|----------|
| 1 セキュリティが不安 | 2 必要性を感じない | 3 無駄使い防止 | 4 現金管理が楽 |
| 5 設定や操作が難しそう | 6 紛失すると困る | 7 その他（ | ） |

問14 角田市内の商店街において、地域通貨（商店街独自のキャッシュレス決済）の導入を検討しています。導入された際の利用について、あてはまる項目を1つ選んで○印をつけてください。

- | | | |
|--------|---------------|-------------|
| 1 利用する | 2 利用しない →問15へ | 3 どちらとも言えない |
|--------|---------------|-------------|

問15 問14で「利用しない」と回答いただいた理由を記入してください。

--

3 角田市内の商店街に関して

問1 商店街を訪れる頻度について、あてはまる項目を1つ選んで○印をつけてください。

商店街の 利用頻度	あてはまる利用頻度					
	ほぼ毎日	週に2,3回	週1回程度	月1回程度	数ヶ月に1回	利用しない
商店街						

問2 商店街を訪れる目的について、あてはまる項目を選んで○印をつけてください。(複数選択可)
あてはまる項目のうち、メインとなる目的については、◎印をつけてください。

1 買い物	2 外食	3 病院	4 習い事	5 理美容関係	6 銀行・郵便局
7 イベント	8 まちあるき(散歩)	9 人付き合い	10 その他()		

問3 商店街に「良さ」を感じていますか。あてはまる項目を1つ選んで○印をつけてください。

1 感じている	2 感じていない	3 どちらとも言えない
---------	----------	-------------

問4 商店街の「良い点」は、どんなところですか。3つまで選んで○印をつけてください。

1 店の数や業種の多さ	2 安さやセールスの魅力	3 名物店や老舗の存在
4 名物商品や逸品の取扱い	5 店員の雰囲気や活気	6 昔ながらの顔の見える付き合い
7 サービスや共同事業の豊富さ	9 人情味が豊か	10 公的施設が近くにある
11 商店街でのイベント	12 駐車場、駐輪場の多さ	13 交通の便
14 景観	15 観光施設、名所旧跡が近くにある	16 営業時間の長さ
17 まちあるきの楽しさ	18 その他()	

問5 商店街の「不足している点」は、どんなところですか。3つまで選んで○印をつけてください。

1 店の数や業種の多さ	2 安さやセールスの魅力	3 名物店や老舗の存在
4 名物商品や逸品の取扱い	5 店員の雰囲気や活気	6 大型店やスーパーの集客力
7 昔ながらの顔の見える付き合い	8 サービスや共同事業の豊富さ	9 人情味が豊か
10 公的施設が近くにある	11 商店街でのイベント	12 駐車場、駐輪場の多さ
13 交通の便	14 観光施設、名所旧跡が近くにある	15 営業時間の長さ
16 まちあるきの楽しさ	17 景観	18 その他()

問6 魅力的だと思う商店街の店舗や施設があれば、店舗名等について記入してください。

店舗・施設名()
販売・サービス内容()
具体的に魅力を感じる部分について ()

問7 商店街が地域との関わりを深めるために役立つと思われる取組みは何だと思いますか。
次の項目から3つまで選んで○印をつけてください。

- 1 子育て支援、子供の一時預かり施設の設置 2 高齢者や障害者のためのバリアフリー対策
3 NPO 法人などの地域活動団体との連携 4 買い物代行、宅配サービスの充実
5 ホームページ、地域かわら版などの情報発信 6 学校、保育所、病院などの誘致
7 防犯、防災活動の強化・協力 8 チャレンジショップなどへの場所の提供
9 定期的なイベントの開催 10 その他（ ）

問8 これからの商店街は、どのようにあって欲しいですか。
次の項目から5つまで選んで○印をつけてください。

- 1 駐車場所を気にしない無料駐車場・駐輪場がある 2 歩道があり、安心して歩ける環境
3 子供からお年寄りまで買い物を楽しめる 4 朝早くから夜遅くまで利用できる
5 地産地消に取り組んでいる 6 子供を遊ばせる場所（託児所やプレイルーム）がある
7 定期的なイベントがある 8 昔ながらの風情を保つ 9 アンテナショップがある
10 商店街独自の宅配サービスがある 11 カルチャースクールなど学びの場がある
12 街の歴史、地域の文化を伝える 13 キャッシュレスに対応している
14 商店街通貨（地域通貨）を導入している 15 ペット同伴でお店に入れる
16 流行の発信地 17 自由に使える（イベント、休憩、交流）場所がある
18 その他（ ）

問9 あなたが考える、より多くの人に愛され、足を運んでもらえる商店街になるためのアイディア、商店街での買い物に関する困りごと、ご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。

--

～アンケートにご協力いただきありがとうございました～

同封の返信用封筒（切手不要）に本調査票を入れて、
7月25日（金）までに、ポストに投函してください。